

第2次石巻市総合計画 後期基本計画策定

基礎データ集

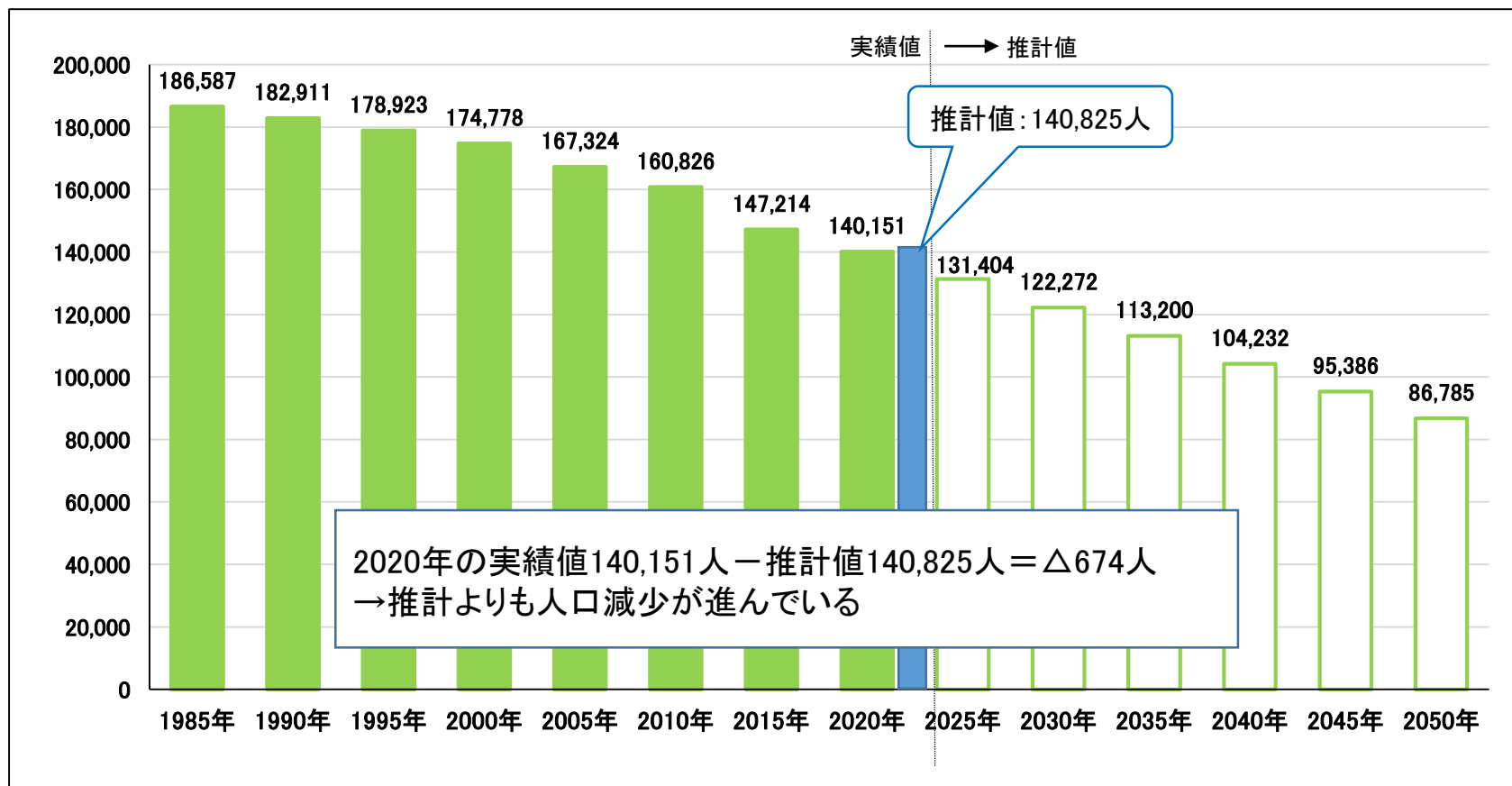
令和6年8月
石巻市

一 目 次

- | | |
|---------------|------------|
| 1 人口に関すること | ・・・P1～P7 |
| 2 市民生活に関すること | ・・・P8～P12 |
| 3 自然と都市に関すること | ・・・P13～P19 |
| 4 健康福祉に関すること | ・・・P20～P27 |
| 5 産業に関すること | ・・・P28～P41 |
| 6 教育に関すること | ・・・P42～P48 |
| 7 行財政に関すること | ・・・P49～P54 |

石巻市の現状と課題

●総人口の推移

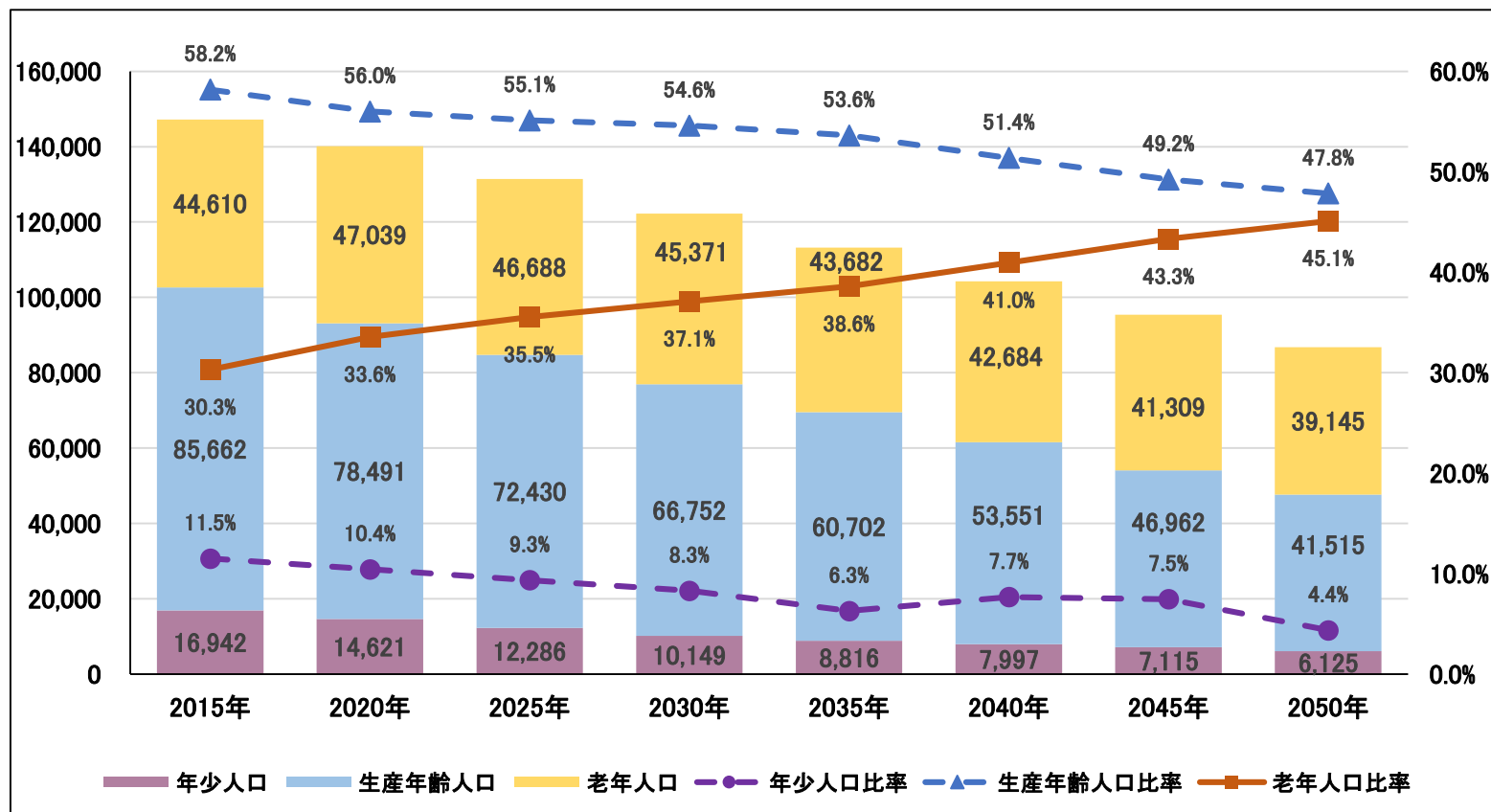


資料: 2020年以前は国勢調査、2025年以降は社人研推計値

■総人口は1985年頃をピークに減少傾向が続き、研究機関の推計では将来も減少を続ける予想。

石巻市の現状と課題

●年齢3区分の人口の推移



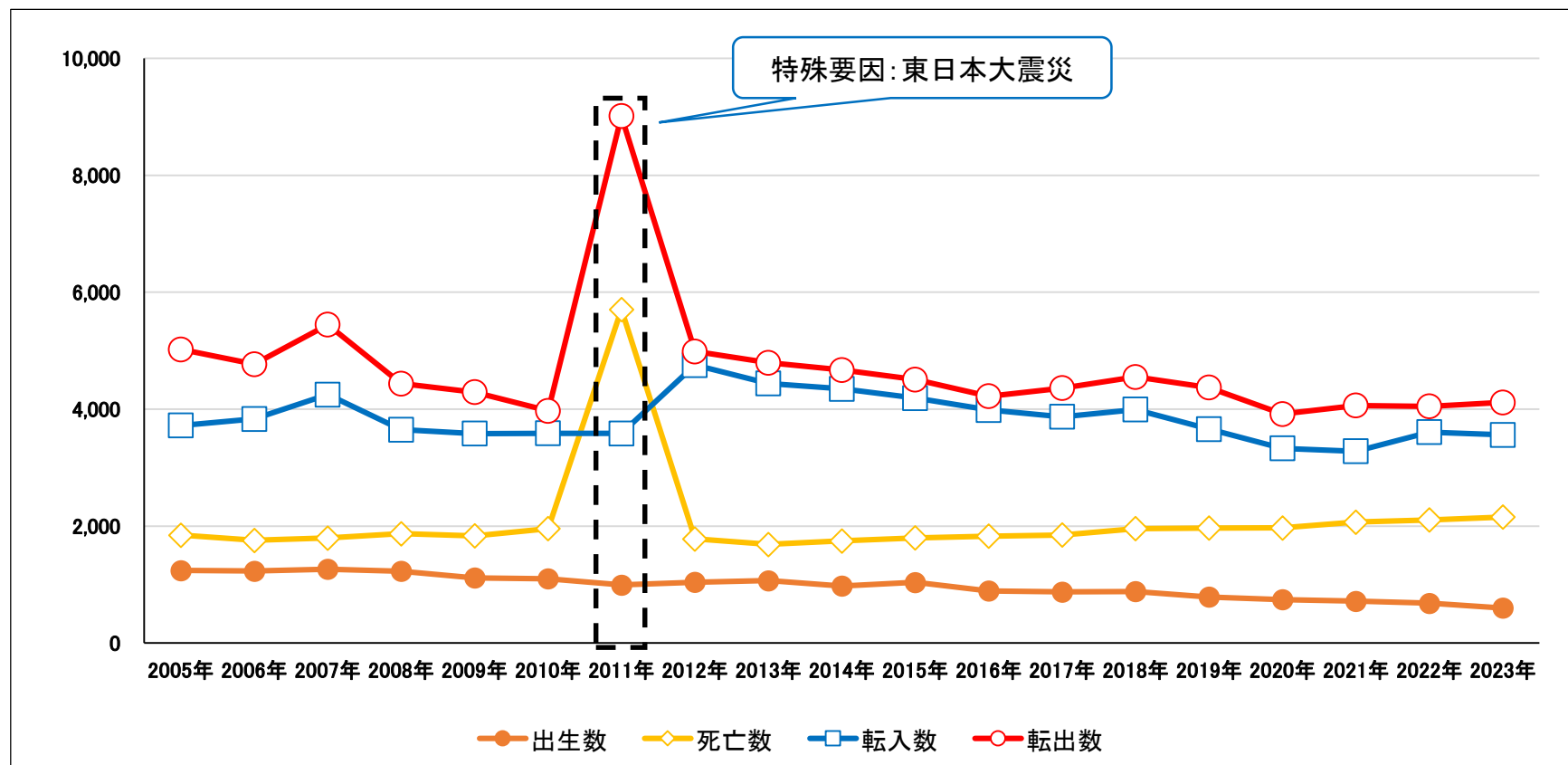
▲ 年齢別将来人口と高齢化率の見通し

資料:「日本の地域別将来推計人口 社人研」(令和5(2023)年推計)

- 人口に占める年少人口と生産年齢人口は減少傾向にあり、生産年齢人口は、2045年には50%を切る予想。
- 一方、高齢化率は30%を超え、2040年には40%に達する予想。

石巻市の現状と課題

●人口減少の要因



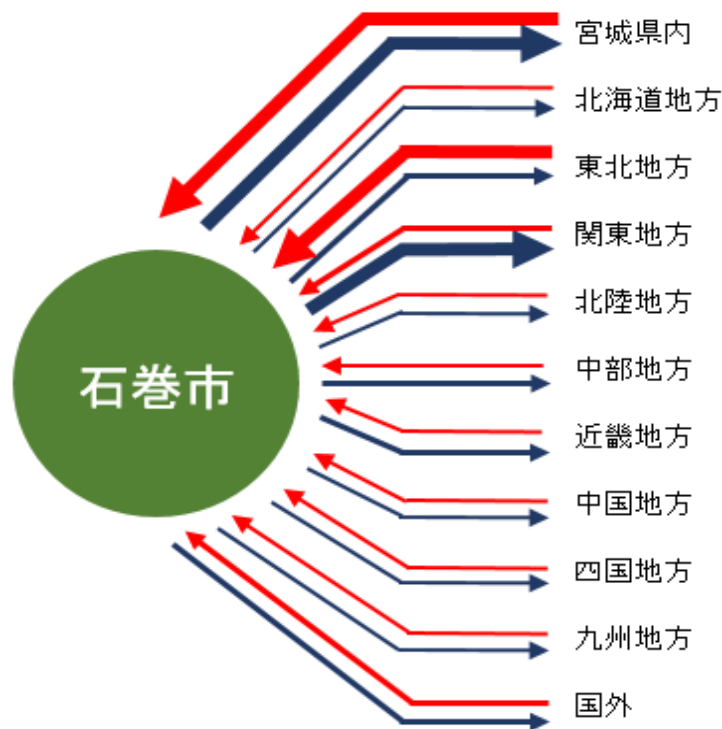
▲ 出生・死亡・転入・転出の推移

資料: 住民基本台帳

- 出生数が減少傾向にあり、かつ高齢化の進展による死亡数の増加により、自然減の幅が大きくなっている。
- また、転出数が転入数を上回っているため、社会減も継続。

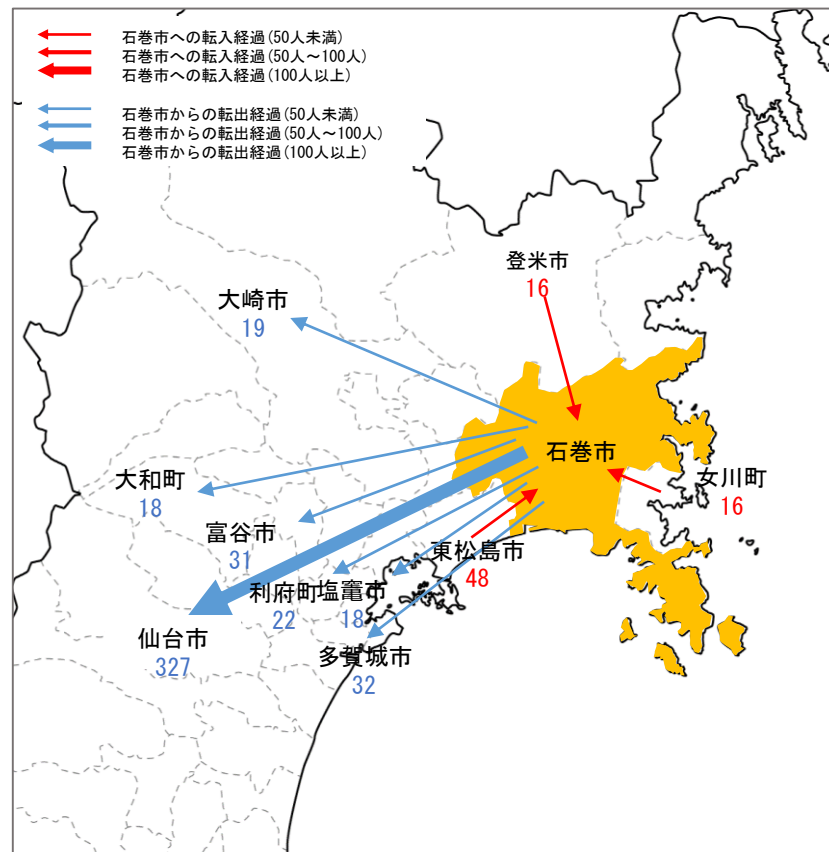
石巻市の現状と課題

●社会減の要因(転出入の状況)



▲ 地方別の転出入:2023年

資料:住民基本台帳人口移動報告

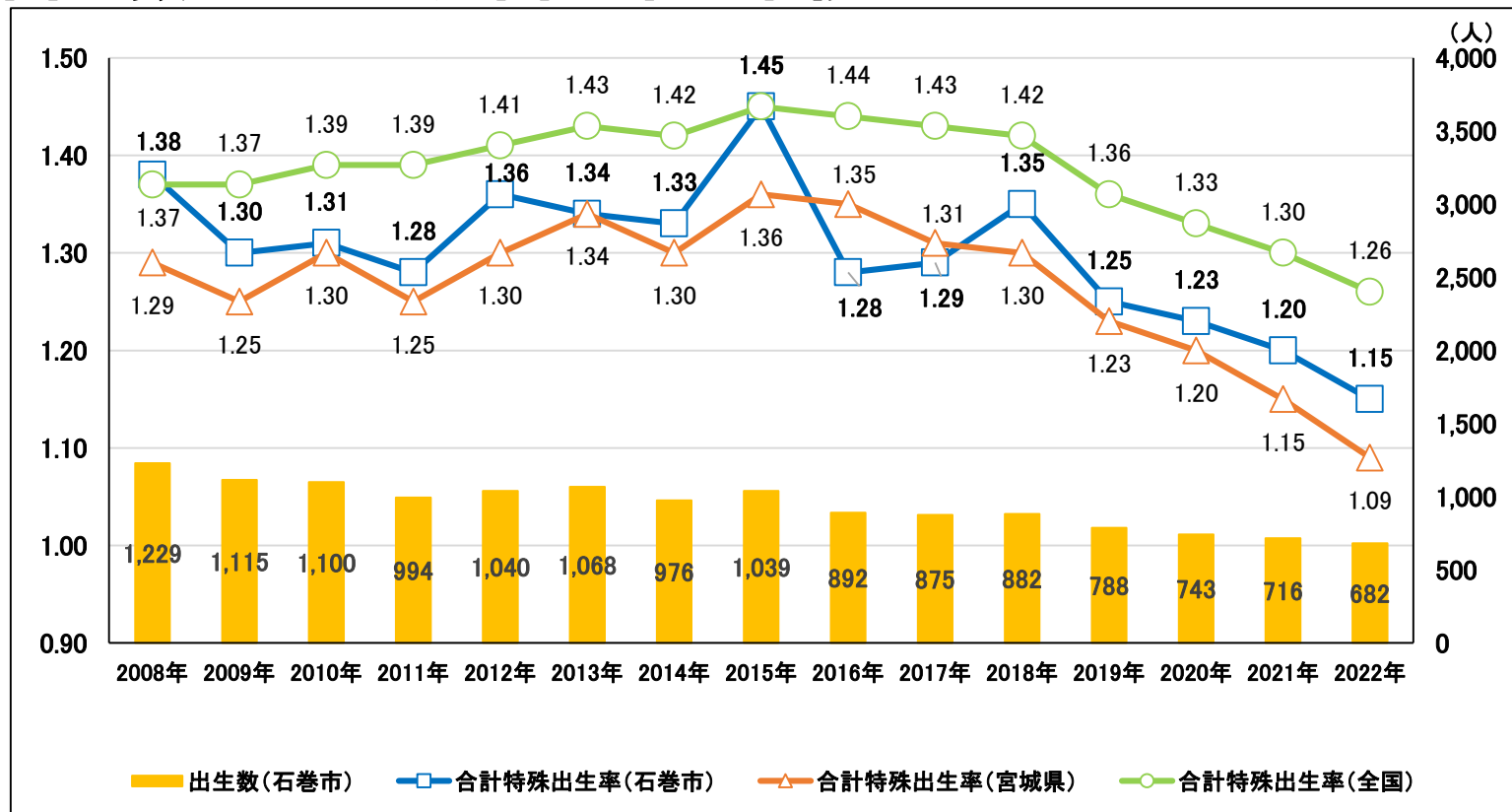


▲ 転出入の状況(転入超過、転出超過 上位10位まで):2023年

- 地方別に見ると、就業などで関東地方への転出が続く。
- 仙台市への転出超過状態が継続。

石巻市の現状と課題

●出生数と合計特殊出生率の推移

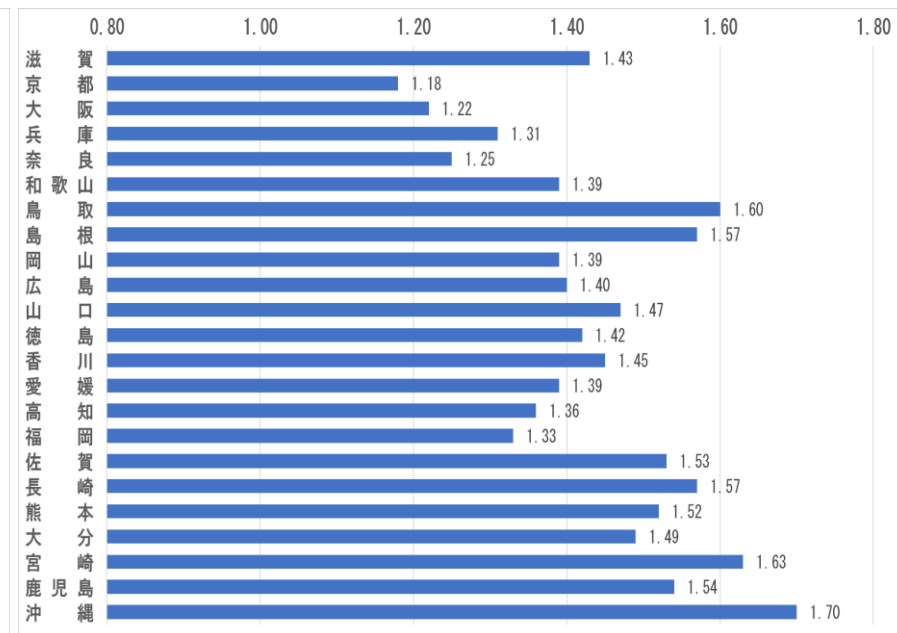
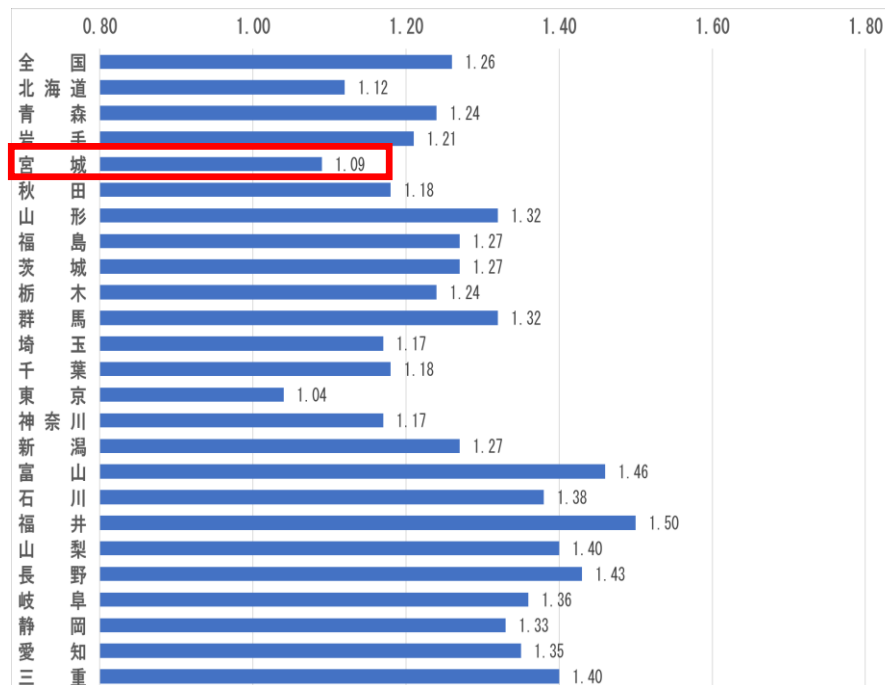


資料：出生数(住民基本台帳)
合計特殊出生率(石巻市子育て支援課資料 宮城県保健福祉総務課資料)

- 出生数は減少傾向で推移している。
- 合計特殊出生率は全国の合計特殊出生率を下回っており、今後も低下することが懸念される。

石巻市の現状と課題

●合計特殊出生率の地域差



資料：厚生労働省「令和4年(2022)人口動態統計(確定数)の概況」

令和5年度
石巻市 1.15

■宮城県の合計特殊出生率は、全国の中でも東京に次いで、全国2番目の低水準となっている。

要因①大学が多く、20歳前後の女性が流入し、卒業後に東京に流出
②働きながら子育てする女性の割合が低い（日本経済新聞引用）

石巻市の現状と課題

●世帯における子どもの人数

(子供1、2、3人の世帯の夫婦と子供からなる世帯に占める割合(世帯ベース))

子供1人世帯の割合		子供2人世帯の割合		子供3人世帯の割合	
宮城県	52.2%	宮城県	36.6%	宮城県	9.6%
仙台市除く宮城県	51.8%	仙台市除く宮城県	35.8%	仙台市除く宮城県	10.5%
1 七ヶ宿町	66.9%	1 富谷市	41.7%	1 大衡村	13.3%
2 気仙沼市	59.8%	2 名取市	40.3%	2 大郷町	13.0%
3 女川町	58.5%	3 大衡村	40.0%	3 山元町	12.6%
4 山元町	56.9%	4 大和町	39.8%	4 色麻町	12.6%
5 南三陸町	56.6%	5 利府町	38.4%	5 蔵王町	12.0%
6 川崎町	56.4%	6 多賀城市	37.7%	6 大和町	11.9%
7 塩竈市	55.3%	7 岩沼市	37.7%	7 加美町	11.6%
8 松島町	54.3%	8 大河原町	37.6%	8 丸森町	11.4%
9 栗原市	54.3%	9 仙台市	37.5%	9 村田町	11.4%
10 丸森町	53.7%	10 東松島市	37.4%	10 登米市	11.4%
11 加美町	53.6%	11 美里町	36.5%	11 角田市	11.3%
12 石巻市	53.5%	12 柴田町	36.5%	12 富谷市	11.3%
13 七ヶ浜町	53.0%	13 色麻町	36.2%	13 利府町	10.7%
14 涌谷町	52.9%	14 大崎市	35.8%	14 名取市	10.7%
15 登米市	52.9%	15 亶理町	35.7%	15 東松島市	10.7%
16 村田町	52.8%	16 白石市	35.5%	16 栗原市	10.7%
17 角田市	52.7%	17 涌谷町	35.3%	17 大河原町	10.6%
18 仙台市	52.6%	18 七ヶ浜町	34.7%	18 亶理町	10.6%
19 白石市	52.5%	19 蔵王町	34.6%	19 岩沼市	10.3%
20 美里町	52.4%	20 石巻市	34.5%	20 南三陸町	10.3%
21 大崎市	52.0%	21 大郷町	34.3%	21 涌谷町	10.2%
22 亶理町	51.7%	22 松島町	34.2%	22 大崎市	10.2%
23 柴田町	51.6%	23 村田町	33.7%	23 石巻市	10.1%
24 蔵王町	50.9%	24 登米市	33.4%	24 柴田町	10.0%
25 多賀城市	50.7%	25 角田市	33.3%	25 七ヶ浜町	10.0%
26 岩沼市	50.3%	26 塩竈市	33.2%	26 白石市	9.9%
27 東松島市	50.1%	27 栗原市	33.2%	27 多賀城市	9.9%
28 大河原町	50.0%	28 加美町	33.0%	28 川崎町	9.6%
29 色麻町	49.4%	29 丸森町	31.9%	29 塩竈市	9.6%
30 大郷町	49.3%	30 川崎町	31.4%	30 美里町	9.5%
31 利府町	49.1%	31 南三陸町	30.9%	31 松島町	9.3%
32 名取市	47.3%	32 気仙沼市	30.0%	32 女川町	9.2%
33 大和町	46.6%	33 女川町	29.9%	33 仙台市	8.6%
34 富谷市	45.3%	34 山元町	28.8%	34 気仙沼市	8.4%
35 大衡村	43.0%	35 七ヶ宿町	22.0%	35 七ヶ宿町	7.9%

資料:総務省統計局 国勢調査(令和2年)

■夫婦と子どもからなる世帯のうち、子ども1人、2人、3人の世帯の割合は、県内でいずれも中位となっている

■富谷市の子ども2人、3人の世帯の割合は、県内1位。

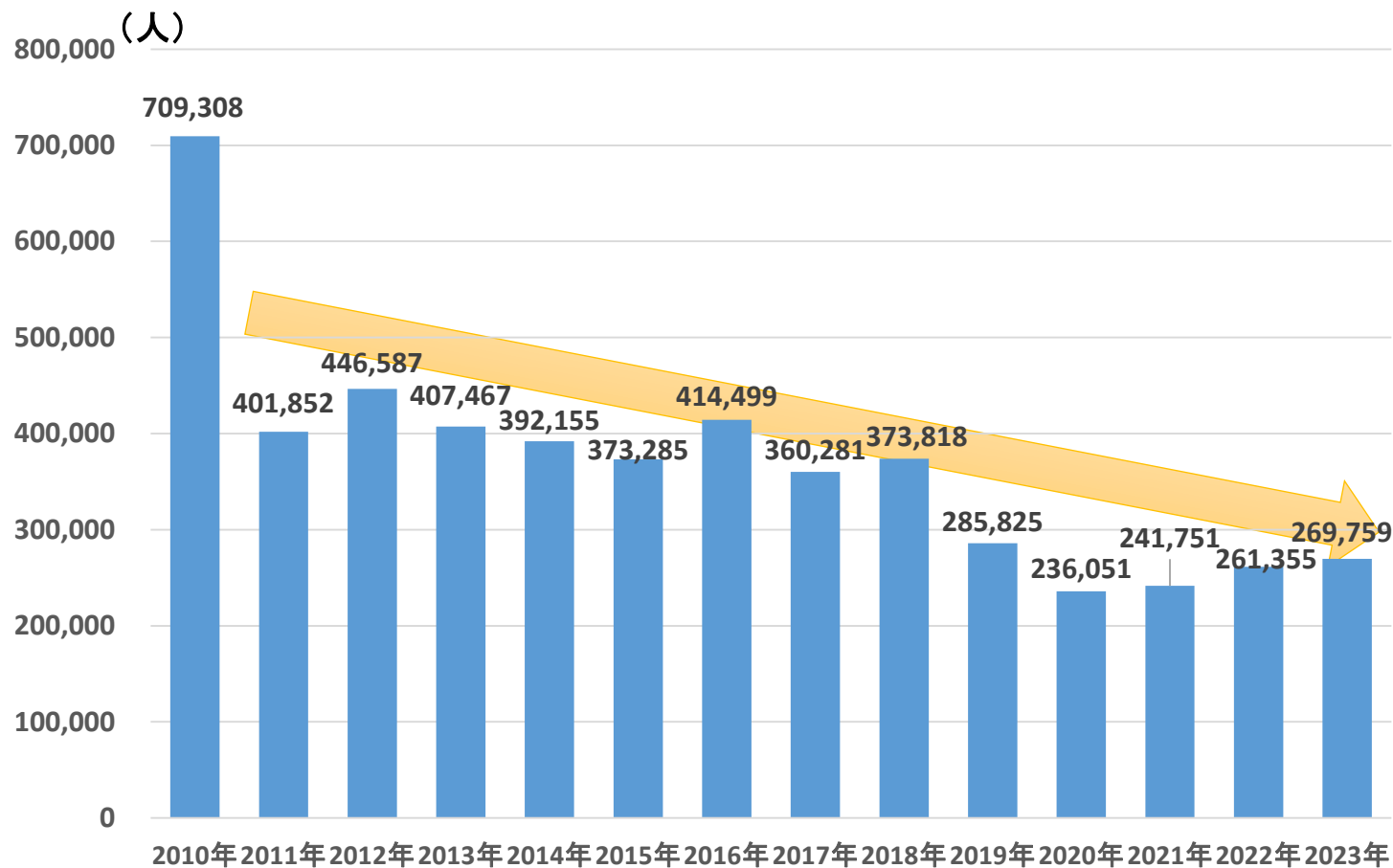
富谷市が「街の住みこちランキング」で『5年連続宮城県1位』『4年連続東北1位』となりました！



資料:富谷市ホームページより引用。

石巻市の現状と課題

●路線バスの輸送人員の推移

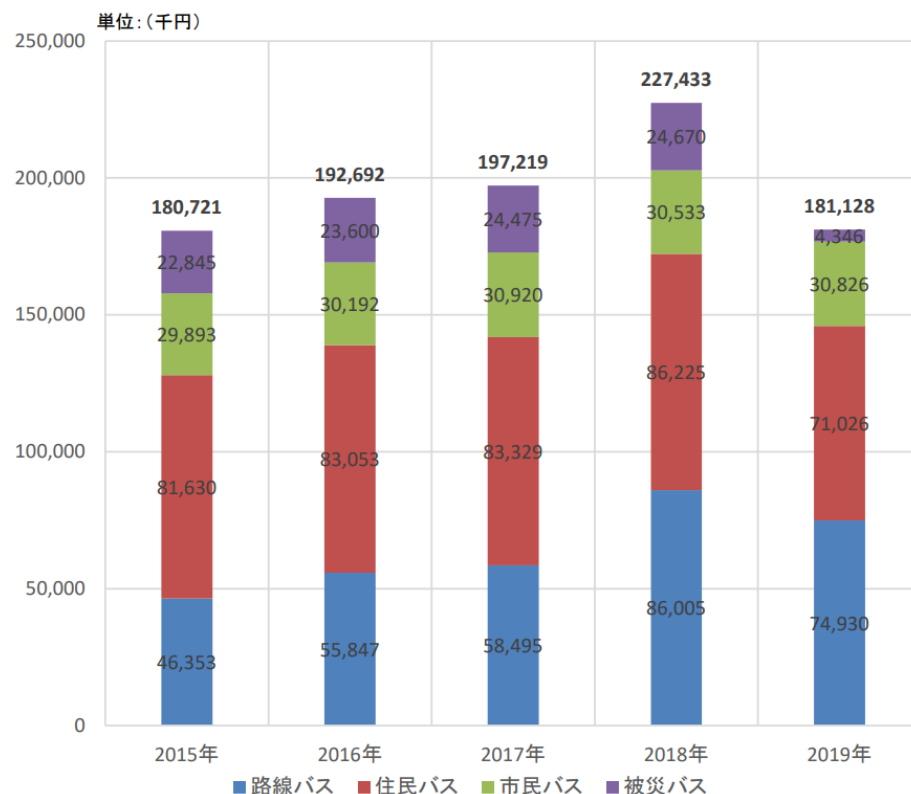


■路線バスの輸送人員は、平成23年（2010年）に比べ令和5年（2023年）には約6割減少している。

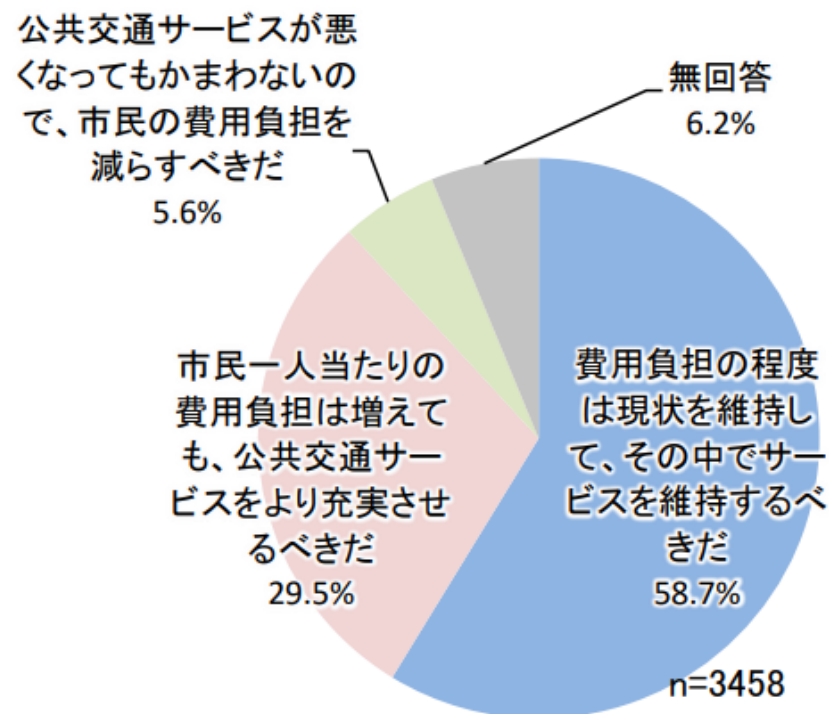
石巻市の現状と課題

●公共交通を維持するための財政負担

資料：石巻市総合交通計画より引用。



公共交通を維持・充実に対する財政負担の推移



公共交通を維持・充実に対する考え

- 公共交通に対する財政負担額は、路線の再編・見直し等により令和元年には減少したものの、1億8千万円の負担となっている。
- 公共交通の維持・充実に対しては、約3割の市民が費用負担は増えても公共交通サービスをより充実させるべきと考えている。

石巻市の現状と課題

●刑法犯認知件数

市区町村	認知件数		刑法犯認知件数の多い罪種・手口					
		前年比	1	件数	2	件数	3	件数
宮城県	11,583	+1,686	自転車盗	1,924	万引き	1,701	非侵入窃盗その他	1,449
仙台市青葉区	2,286	+267	自転車盗	476	万引き	352	非侵入窃盗その他	240
仙台市宮城野区	1,160	+197	自転車盗	300	非侵入窃盗その他	143	器物損壊等	106
仙台市若林区	642	-68	自転車盗	154	万引き	87	器物損壊等	62
仙台市太白区	1,162	+269	自転車盗	221	万引き	196	詐欺	146
仙台市泉区	837	+188	万引き	149	自転車盗	108	非侵入窃盗その他	87
石巻市	843	+136	自転車盗	181	万引き	128	非侵入窃盗その他	90
塩竈市	223	+48	非侵入窃盗その他	41	自転車盗	37	詐欺	24
気仙沼市	194	+41	万引き	45	非侵入窃盗その他	35	器物損壊等	33
白石市	158	-15	非侵入窃盗その他	28	器物損壊等	21	詐欺	10
名取市	360	+18	万引き	79	自転車盗	61	非侵入窃盗その他	42
角田市	148	+37	万引き	26	非侵入窃盗その他	22	器物損壊等	19
多賀城市	382	+122	自転車盗	111	万引き	70	非侵入窃盗その他	59
岩沼市	188	+20	自転車盗	36	万引き	29	器物損壊等	23
登米市	309	+62	非侵入窃盗その他	66	万引き	51	器物損壊等	36
栗原市	213	+29	非侵入窃盗その他	41	万引き	29	詐欺	24
東松島市	182	+40	非侵入窃盗その他	47	器物損壊等	25	自転車盗	24
大崎市	535	+98	万引き	87	非侵入窃盗その他	73	器物損壊等	65
富谷市	133	+16	万引き	37	器物損壊等	17	暴行	15
蔵王町	47	-13	非侵入窃盗その他	12	侵入窃盗その他	4	詐欺	4
七ヶ宿町	6	+4	非侵入窃盗その他	3	器物損壊等	2	住居侵入	1

市区町村	認知件数	前年比	刑法犯認知件数の多い罪種・手口					
			1	件数	2	件数	3	件数
大河原町	136	+23	非侵入窃盗その他	25	詐欺	22	万引き	17
村田町	43	+6	詐欺	12	器物損壊等	7	万引き	3
柴田町	193	+25	自転車盗	68	詐欺	27	器物損壊等	16
川崎町	26	+2	職場ねらい	5	非侵入窃盗その他	4	工事場ねらい	3
丸森町	40	-6	工事場ねらい	11	非侵入窃盗その他	6	詐欺	5
亘理町	167	+43	万引き	26	器物損壊等	23	非侵入窃盗その他	17
山元町	44	+1	非侵入窃盗その他	14	器物損壊等	5	詐欺	5
松島町	62	+17	自転車盗	9	器物損壊等	9	非侵入窃盗その他	7
七ヶ浜町	49	+17	非侵入窃盗その他	8	空き巣	4	詐欺	4
利府町	172	+11	万引き	62	非侵入窃盗その他	24	自転車盗	15
大和町	130	+4	居空き	27	万引き	22	非侵入窃盗その他	11
大郷町	42	+11	非侵入窃盗その他	11	工事場ねらい	10	万引き	7
大衡村	35	+1	非侵入窃盗その他	12	倉庫荒し	4	器物損壊等	4
色麻町	15	-5	非侵入窃盗その他	6	倉庫荒し	3	自動車盗	1
加美町	103	+34	万引き	18	非侵入窃盗その他	17	器物損壊等	13
涌谷町	67	-4	非侵入窃盗その他	26	万引き	8	車上ねらい	7
美里町	75	+4	万引き	14	倉庫荒し	13	非侵入窃盗その他	10
女川町	28	+8	車上ねらい	5	器物損壊等	4	非侵入窃盗その他	4
南三陸町	45	+13	器物損壊等	6	非侵入窃盗その他	6	万引き	4
発生地不明	103	-15						

資料：犯罪と防犯（令和5年中の宮城県内の概要）より引用

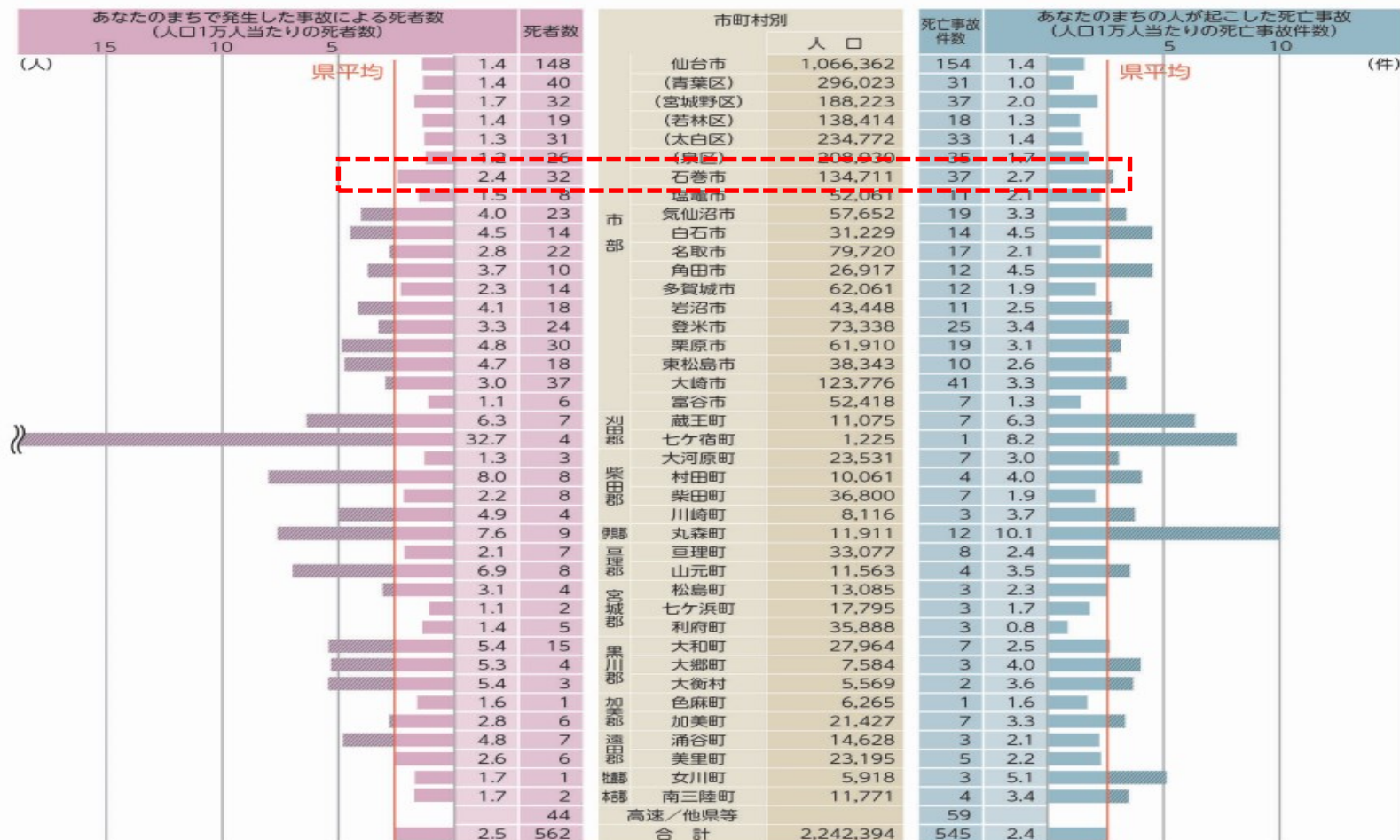
■刑法犯認知件数は、仙台市を除くと県内で一番多く、前年比で136件増加している。

■認知件数が多い罪種・手口は、自転車盗、万引きの順で多くなっている。

石巻市の現状と課題

●交通死亡事故発生状況(平成25年～令和4年)

資料:みやぎの交通事故(令和4年中)より引用



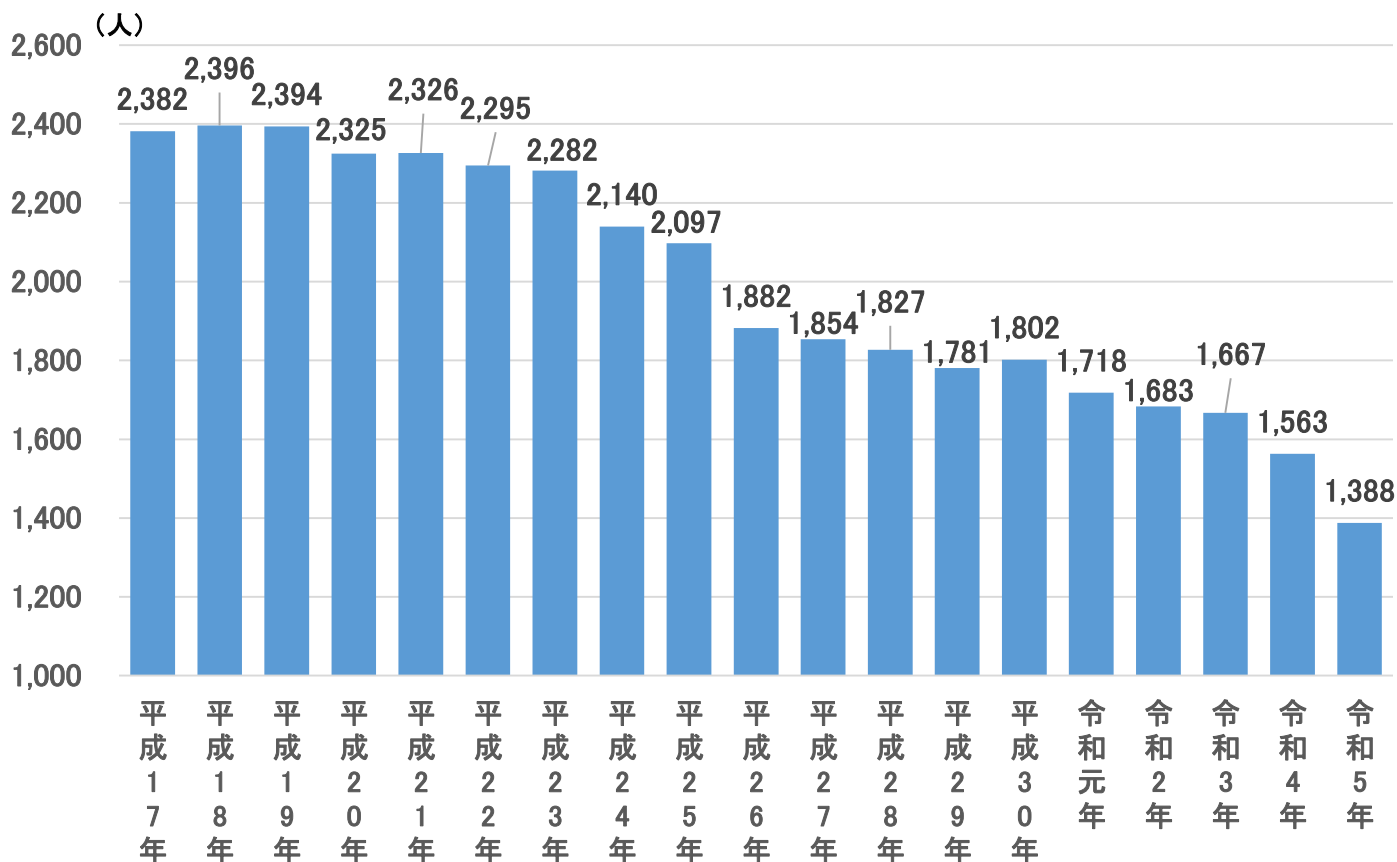
※人口は、令和5年12月末現在の住民基本台帳人口(宮城県)

※富谷市は旧黒川郡富谷町を含む

■市民が起こした死亡事故は、宮城県平均をやや上回るものの、市内で発生した事故による死者数は、宮城県平均よりやや低い。

石巻市の現状と課題

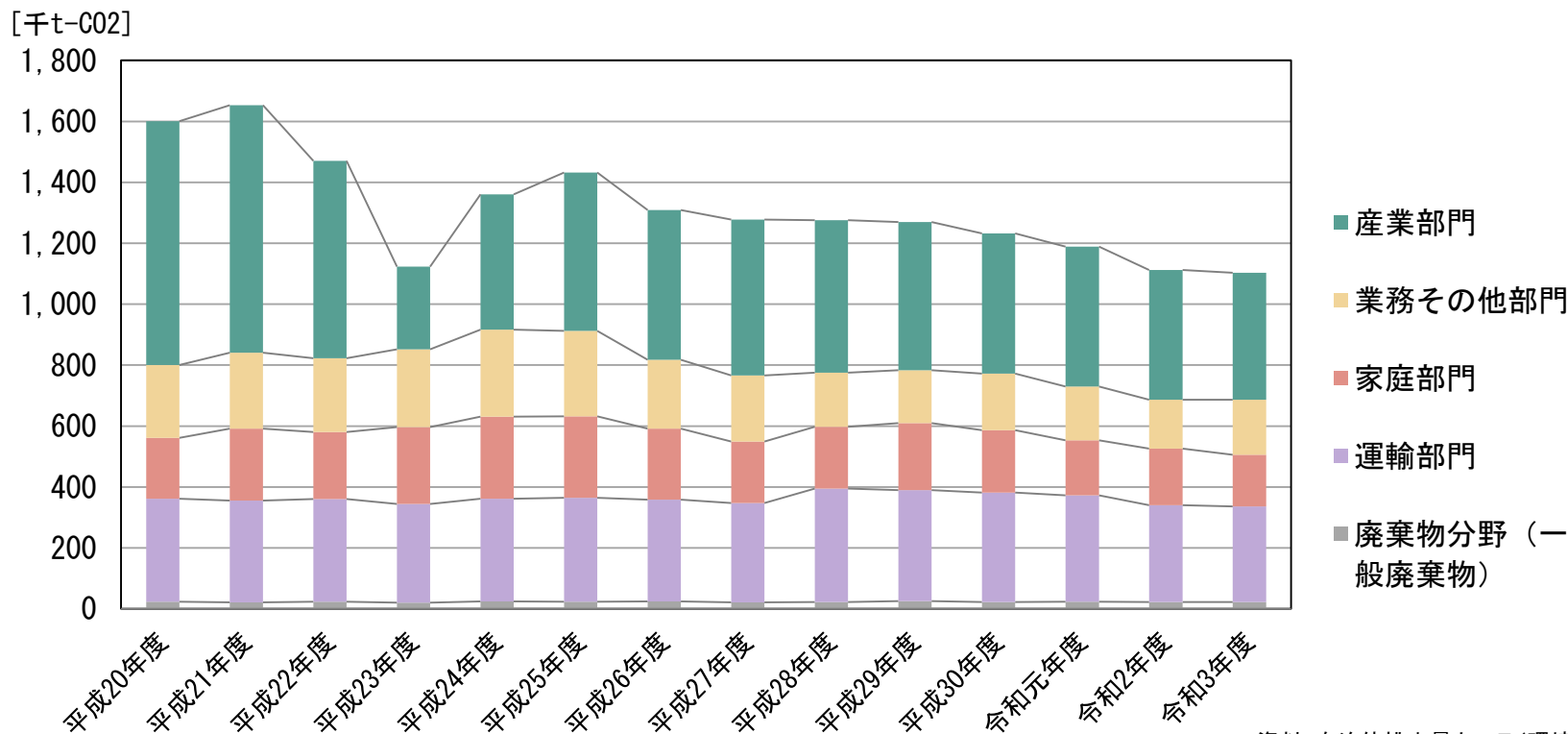
●消防団員数の推移



■消防団員数は、担い手不足が進み、減少傾向が続いており、条例定数の1,851人に対し、1,388人約75%の充足率となっている。

石巻市の現状と課題

●部門・分野別の温室効果ガス(CO₂)排出量の推移



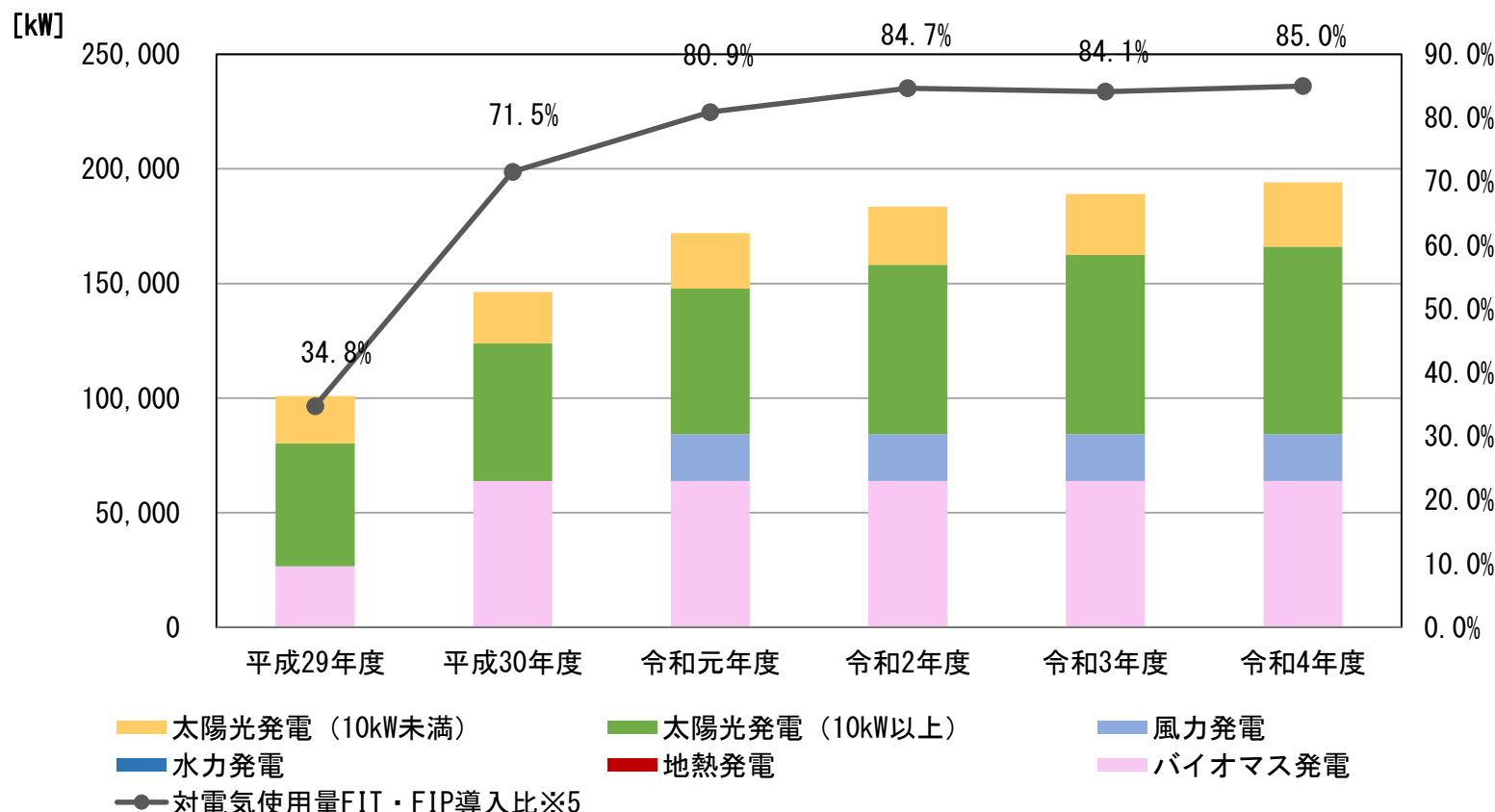
資料：自治体排出量カルテ（環境省）

- 全体の温室効果ガス排出量は、減少傾向にあり、部門別では産業部門での排出量が震災前に比べ大きく減っている。
- 家庭部門の排出量も減少傾向にあるが、運輸部門はほぼ横ばいの排出量となっている。

石巻市の現状と課題

●再生可能エネルギーの導入容量の推移

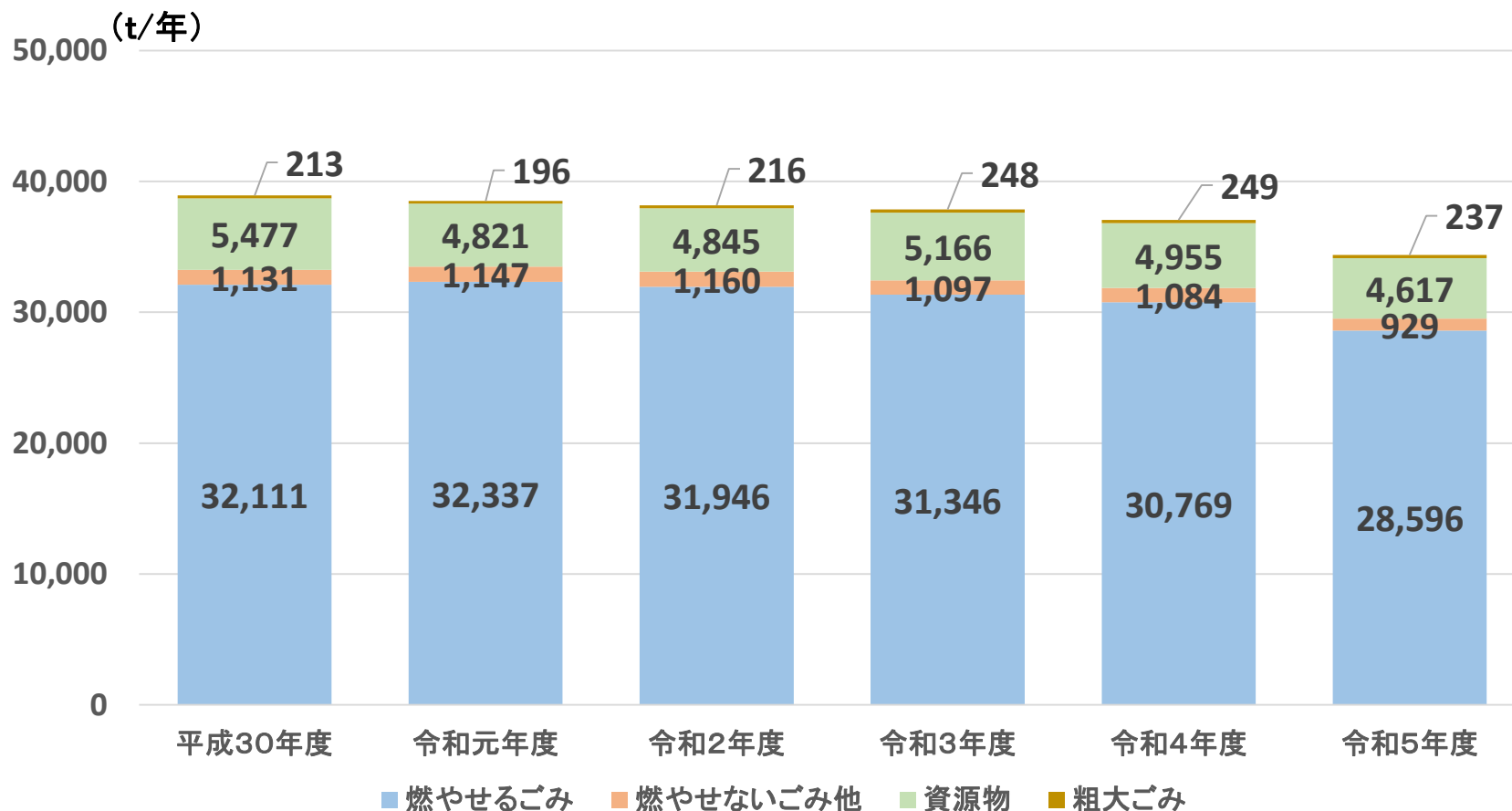
資料：自治体排出量カルテ（環境省）



■太陽光発電に加え、平成29年度以降はバイオマス発電による容量が、令和元年度以降は、風力発電による容量が加わり、対消費電力FIT導入費も80%を超えた。

石巻市の現状と課題

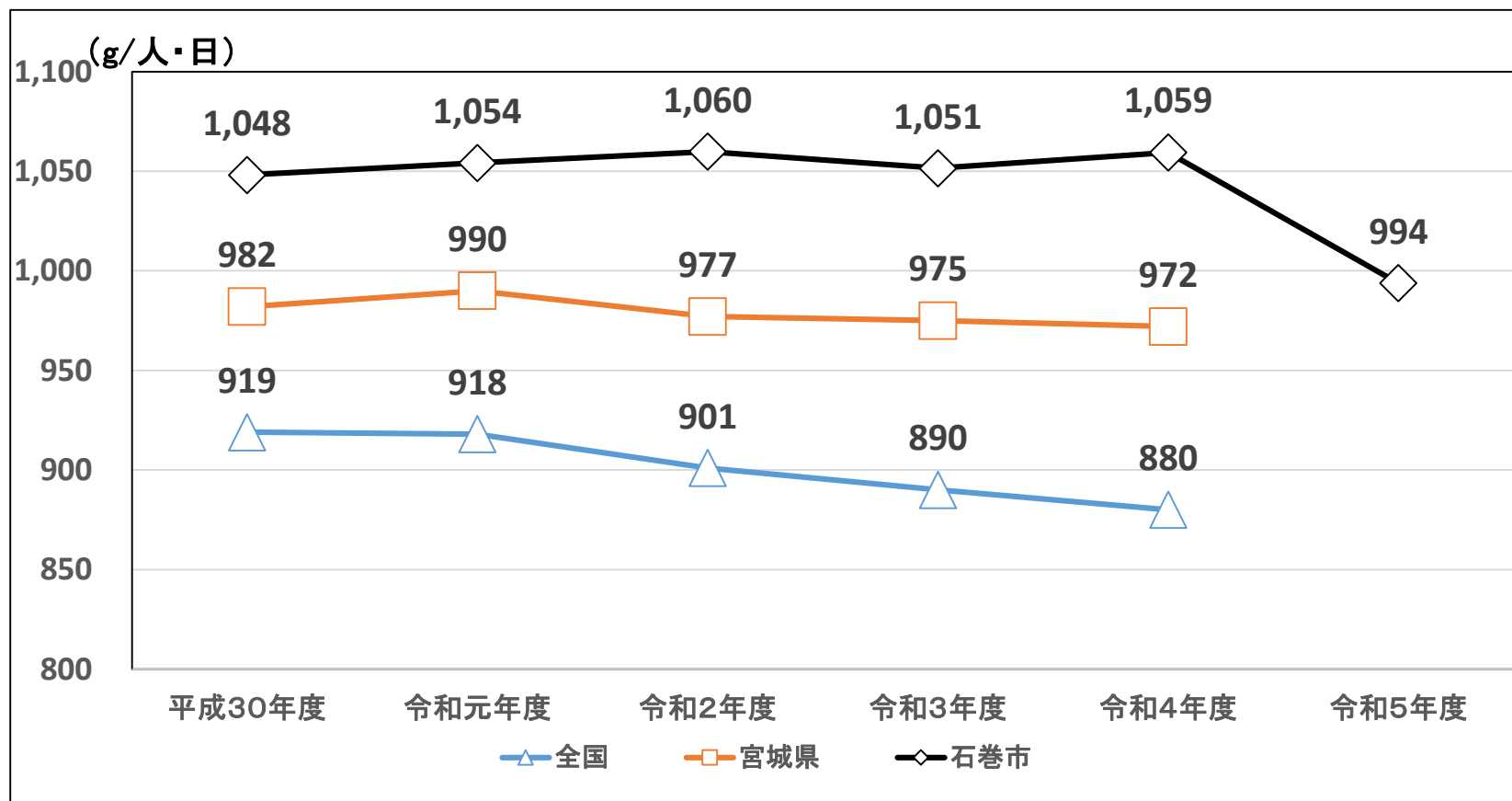
●ごみ量の推移



■ ごみ収集量は年々減少しているが、粗大ごみは増加傾向にある。

石巻市の現状と課題

●1人1日当たりのごみ排出量の推移

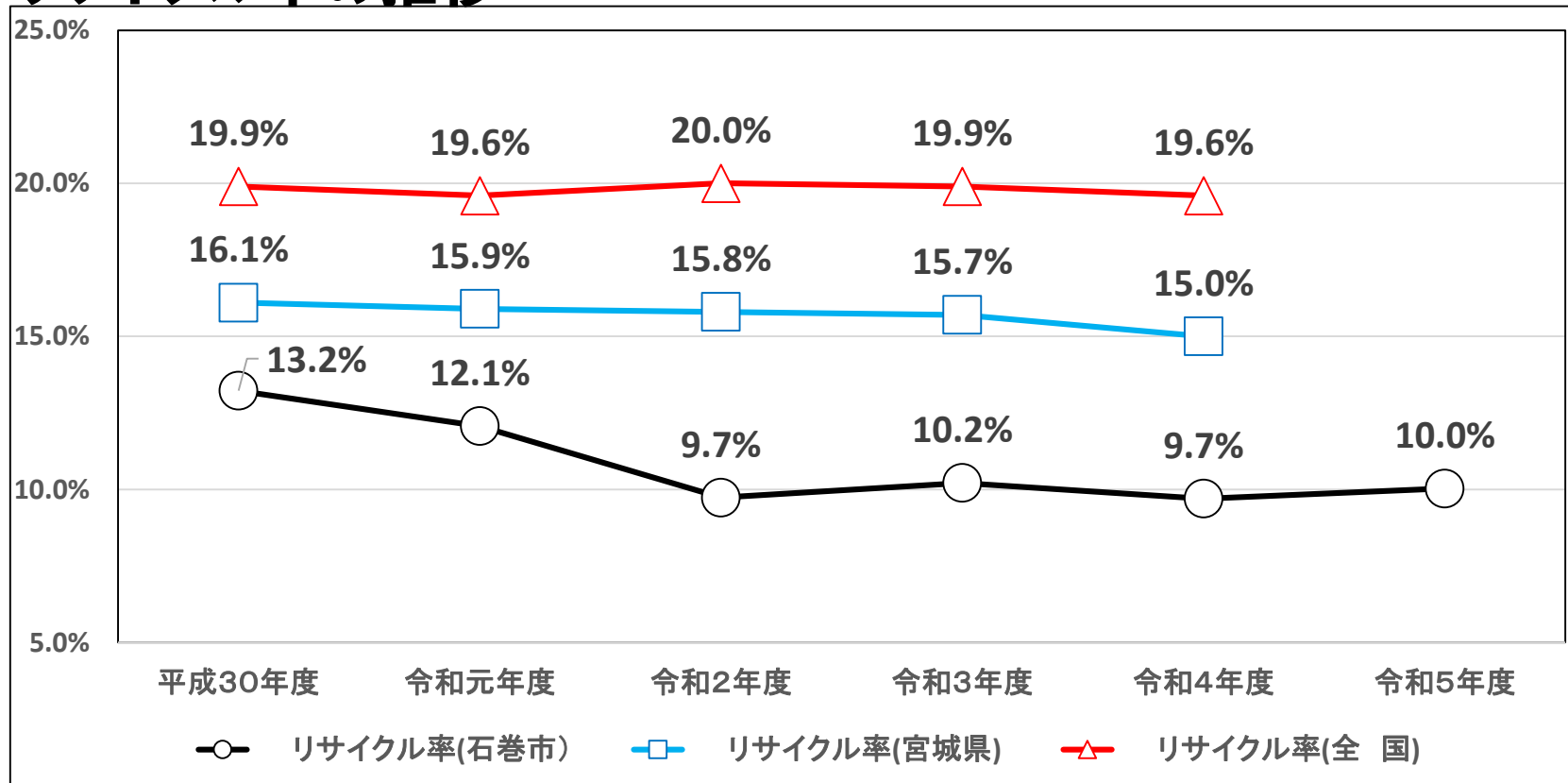


■ 1人1日当たりのごみ収集量は全国、宮城県よりも多い傾向が続いている。

※ 1人1日当たりごみ排出量 = 総排出量(t/年) × 1,000,000 ÷ 人口(人) ÷ 365(日)

石巻市の現状と課題

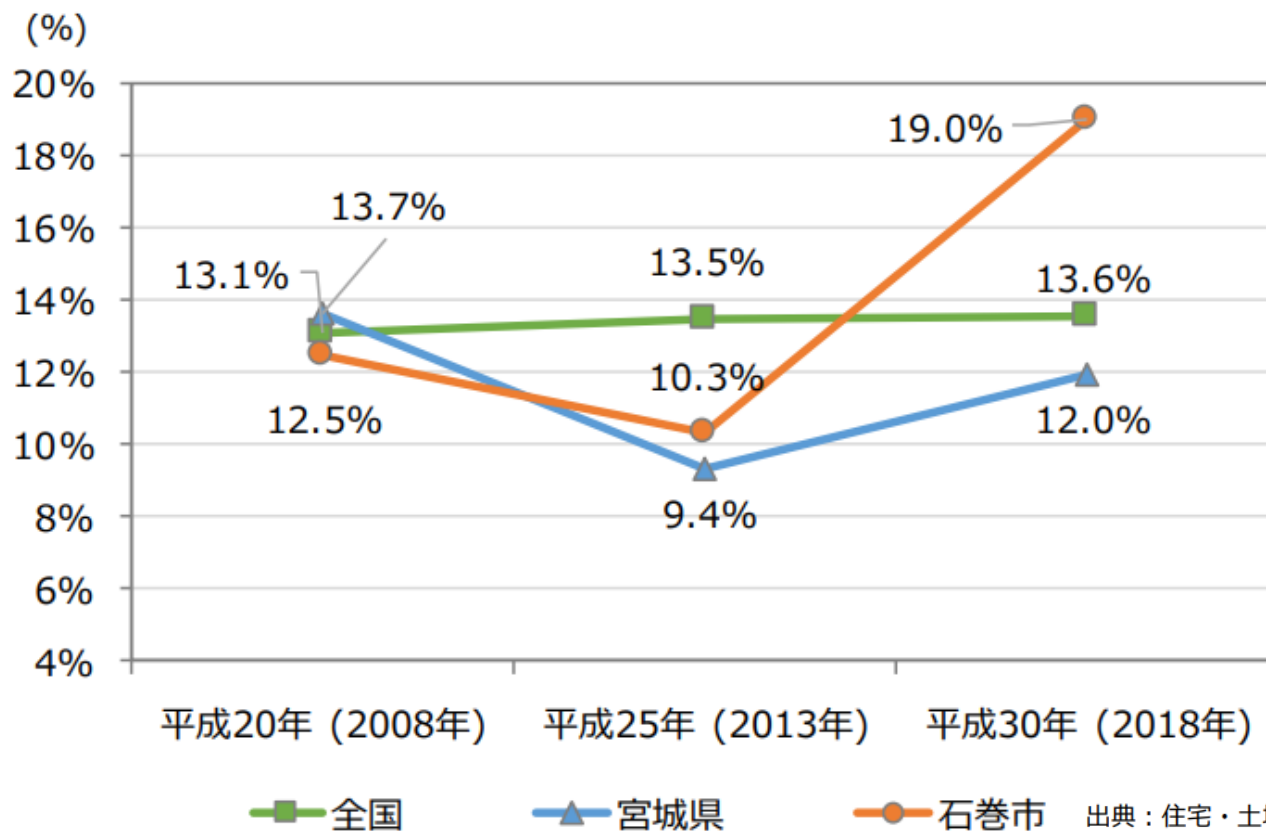
●リサイクル率の推移



■リサイクル率は、全国、宮城県よりも低く、近年は低迷している状況。

石巻市の現状と課題

●空き家率の推移

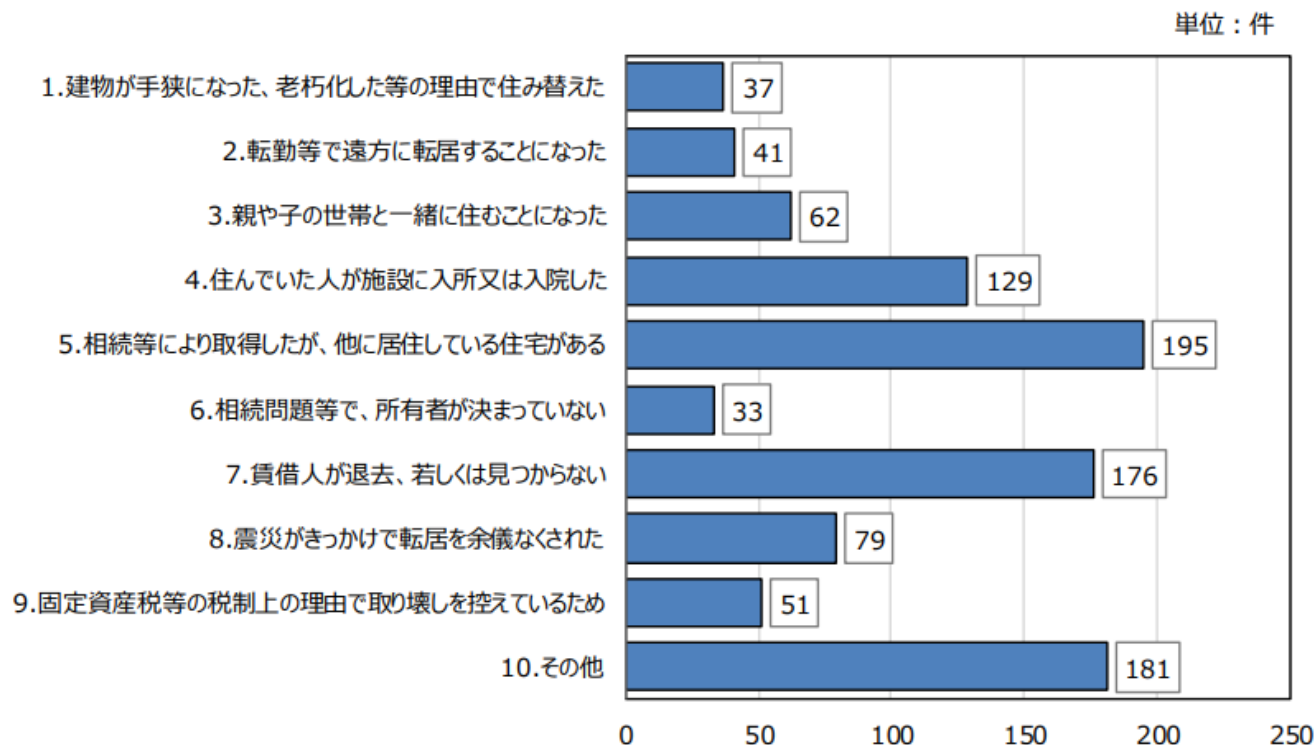


■ 空き家率は、震災後、一時減少したが平成30年には全国、宮城県を大きく超える高い水準となった。

※空き家率（住宅総数に占める空き家総数の割合）

石巻市の現状と課題

●建物を使用しなくなった理由

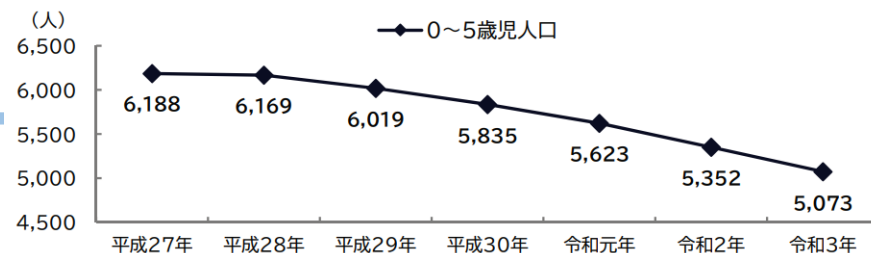


資料：石巻市空き家等対策計画（所有者等の状況・意向）

■建物を使用しなくなった理由は、「相続等により取得したが、他に居住している住宅がある」が最も多く、次いで、「賃借人が退去、若しくは見つからない」、「住んでいた人が施設に入所又は入院した」が多く、高齢化による要因が占める。

石巻市の現状と課題

●保育施設・幼稚園の状況



区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
保育施設数(箇所)	41	46	49	53	55	54	54
入所児童数(人)	2,262	2,403	2,443	2,613	2,492	2,521	2,562
待機児童数(人)	45	62	78	21	15	12	8

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
幼稚園数(箇所)	14	14	14	13	13	13	14
在園児数(人)	1,353	1,338	1,336	1,266	1,234	1,154	1,061
就園率※(%)	54.9	53.5	52.5	50.4	48.0	48.5	47.3

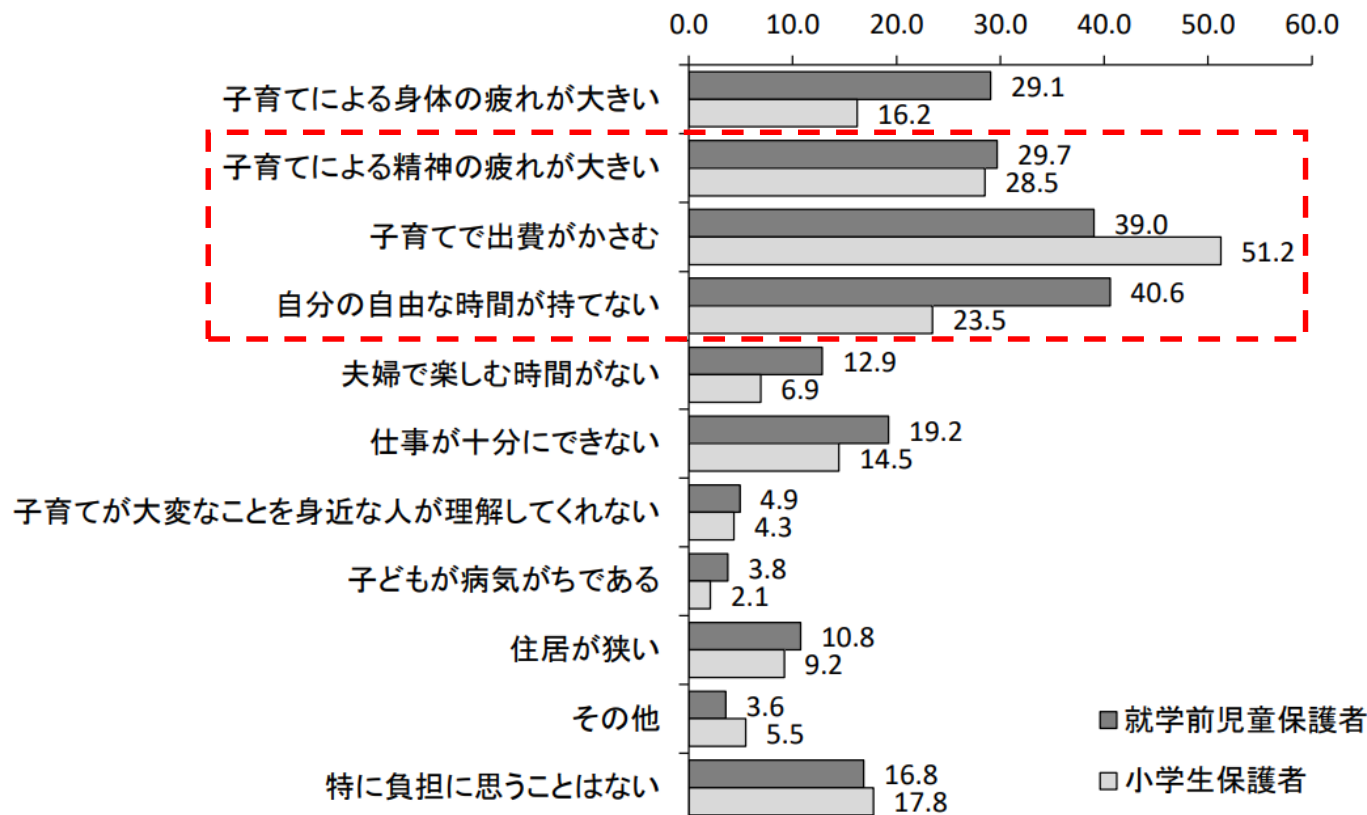
資料：学校基本調査（各年度5月1日現在）※幼稚園数には、石巻市内の園児が通園している市外の幼稚園を含む

- 5歳児未満の子どもは少子化により、減少傾向であるが、保育施設入所児童数は、増加傾向で推移。
- 一方、幼稚園在園児数は、減少傾向で推移。

石巻市の現状と課題

●子育てをする上での負担に思うこと

資料：第2期石巻市子ども未来プラン策定にあたって実施した「子ども・子育て支援ニーズ調査」
(%)

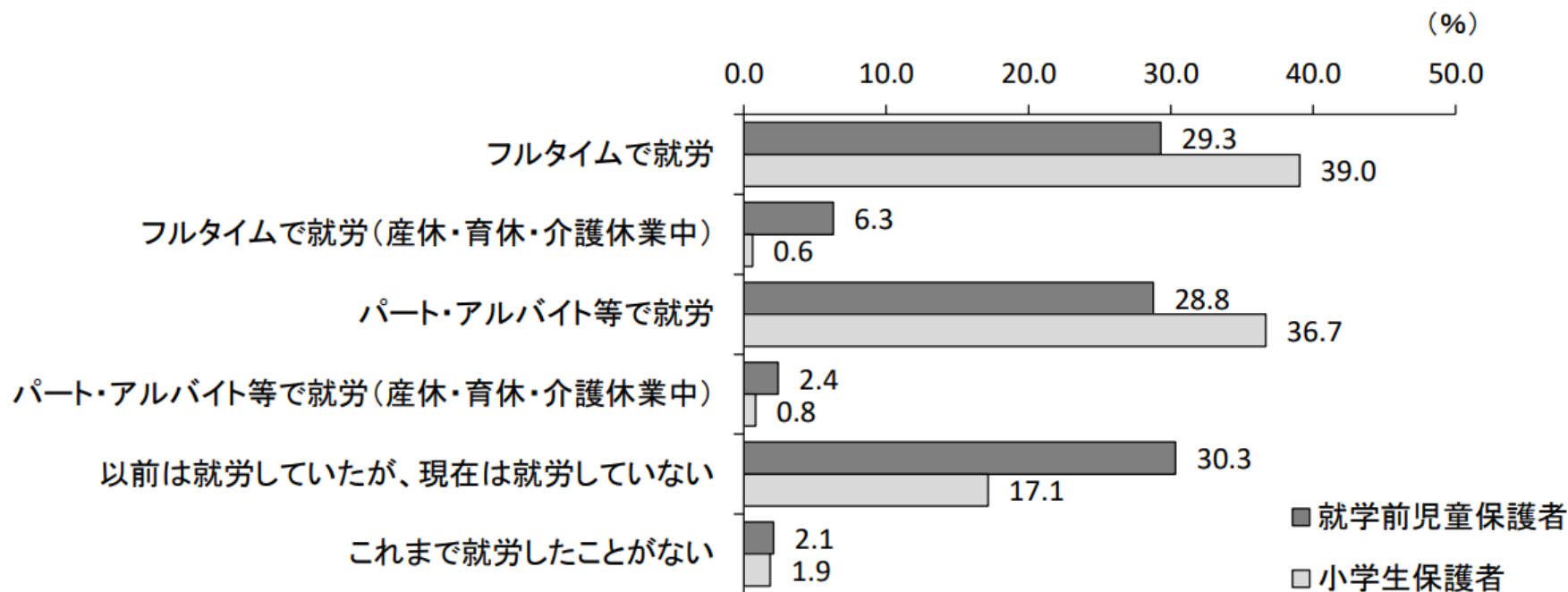


■子育てをする上で、特に負担に思うことでは、「子育てで出費がかさむ（経済的負担）」、「自分の自由な時間が持てない」、「子育てによる精神の疲れが大きい（精神的負担）」等の割合が高くなっている。

石巻市の現状と課題

●母親の就労の状況

資料：第2期石巻市子ども未来プラン策定にあたって実施した「子ども・子育て支援ニーズ調査」



■ 母親の就労状況は、フルタイムもしくはパート・アルバイトで就労している人は、産休・育休・介護休業中の人も含め、就学前児童保護者で7割弱、小学生保護者で8割弱となっている。

石巻市の現状と課題

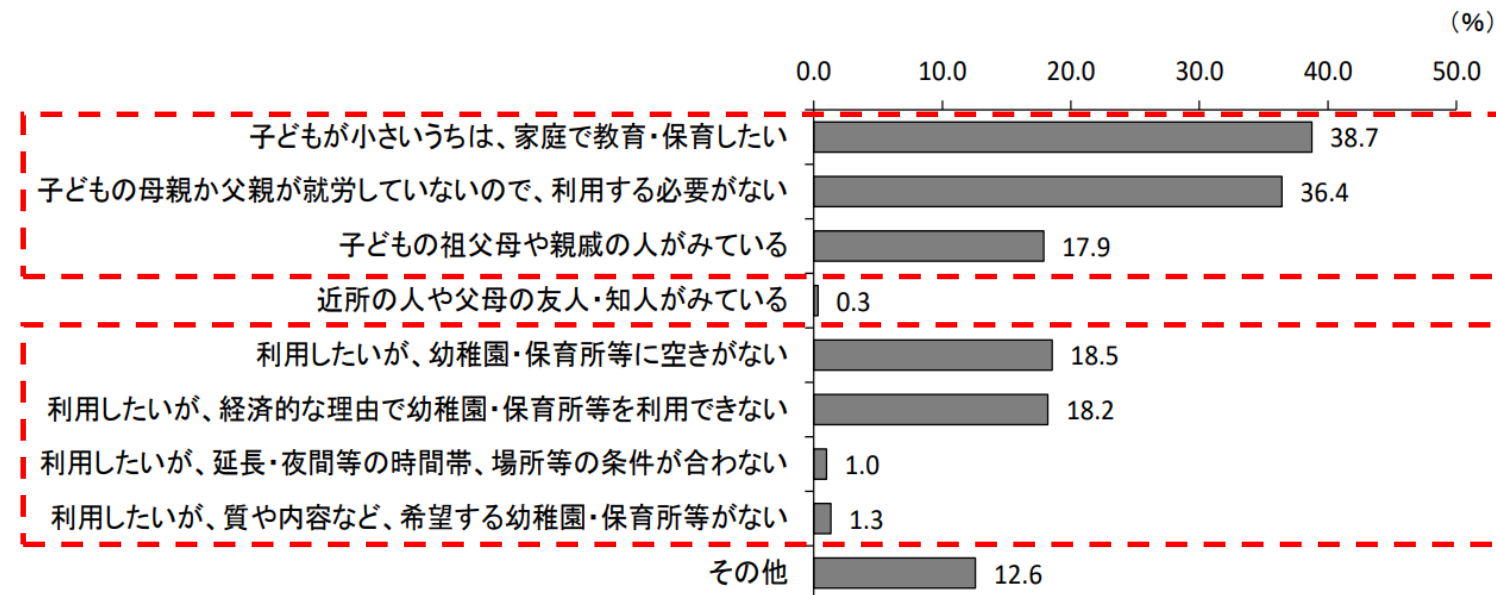
●保育所等の利用状況

定期的な教育・保育事業の利用状況（％）

資料：第2期石巻市子ども未来プラン策定にあたって実施した「子ども・子育て支援ニーズ調査」

カテゴリー名	今回	前回
利用している	68.1	48.1
利用していない	31.6	51.0

定期的な教育・保育事業を利用していない理由

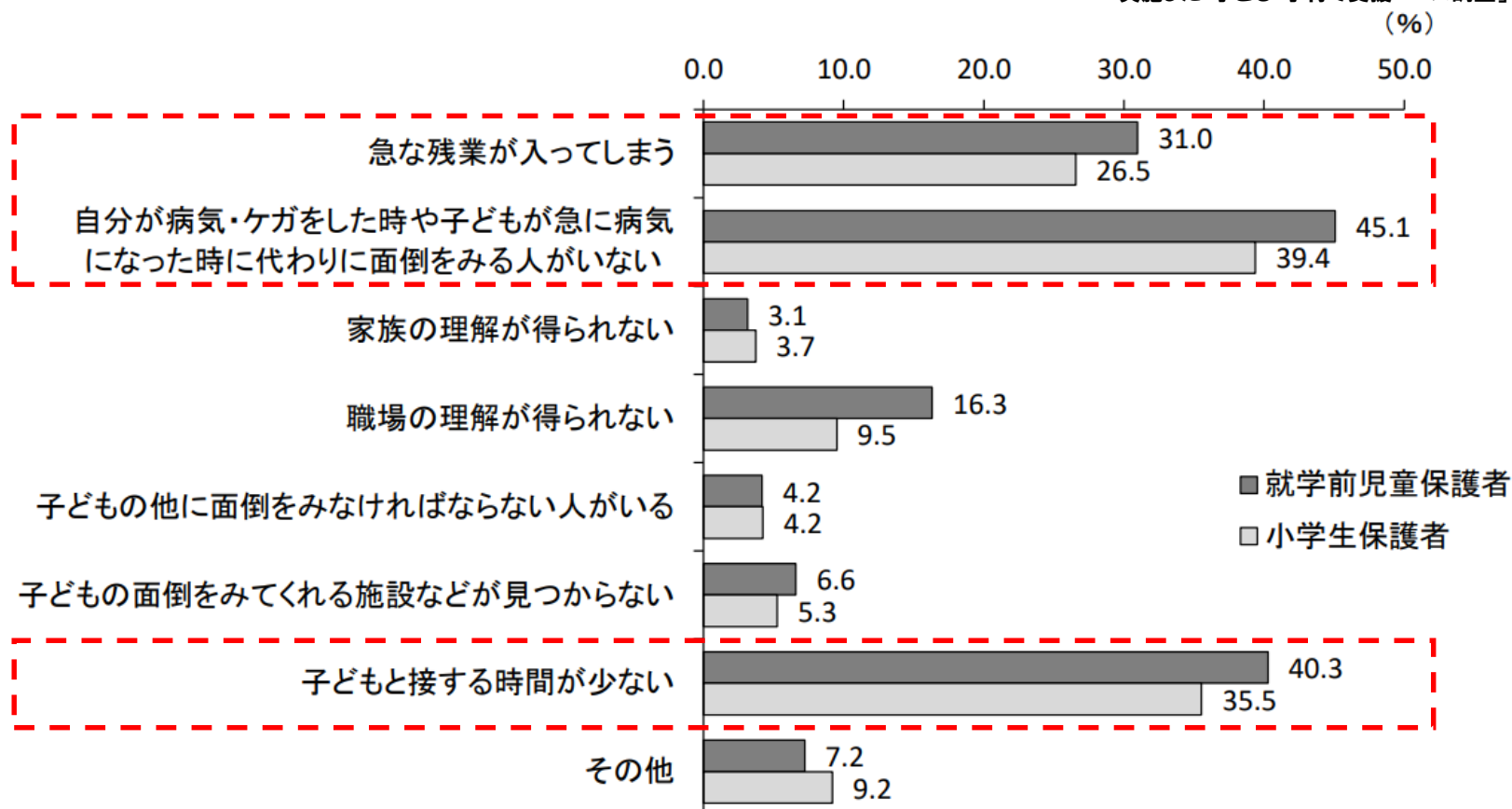


- 定期的な教育・保育事業を利用している人は7割弱で、前回調査から大幅に増加している。
- 「利用したいが空きがない」も2割弱みられる。

石巻市の現状と課題

●仕事と子育てを両立させる上で大変なこと

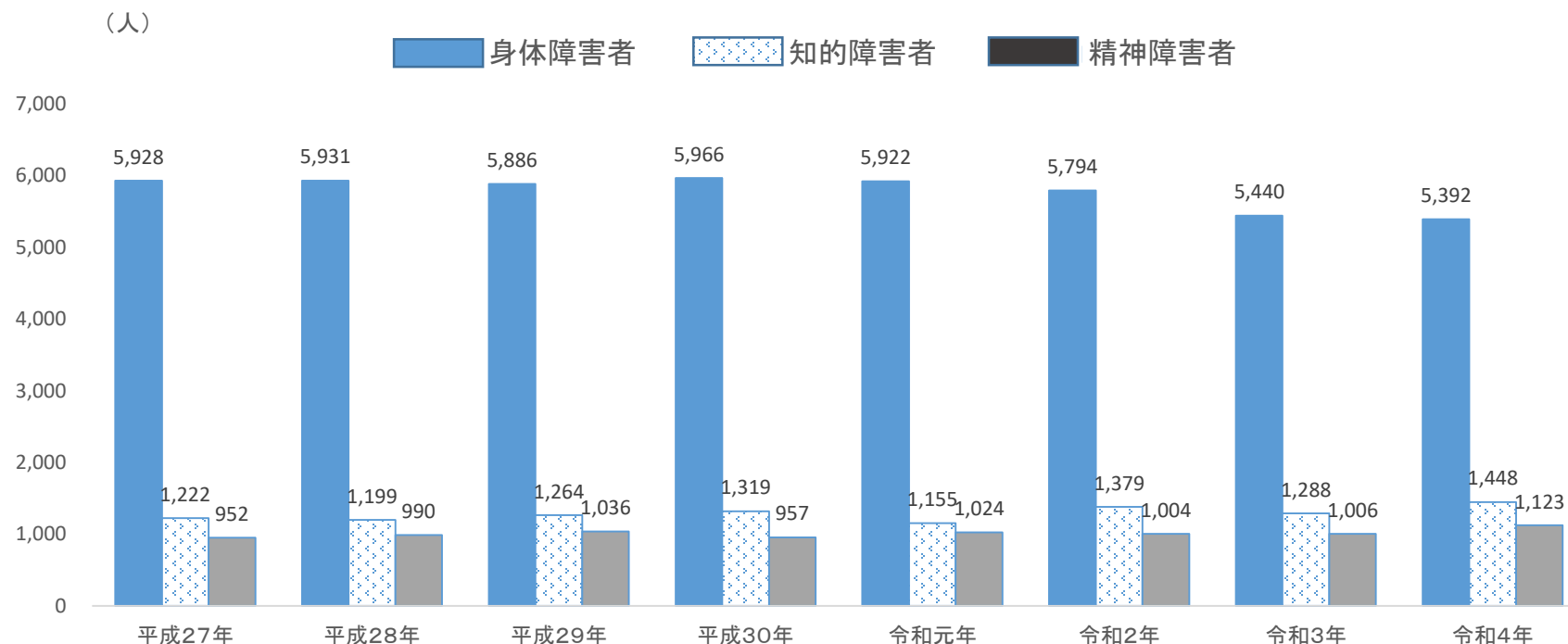
資料：第2期石巻市子ども未来プラン策定にあたって実施した「子ども・子育て支援ニーズ調査」



■ 仕事と子育ての両立で特に大変だと感じることは、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒を見る人がいない」が最も多く、「子どもと接する時間が少ない」、「急な残業が入ってしまう」と続いている。

石巻市の現状と課題

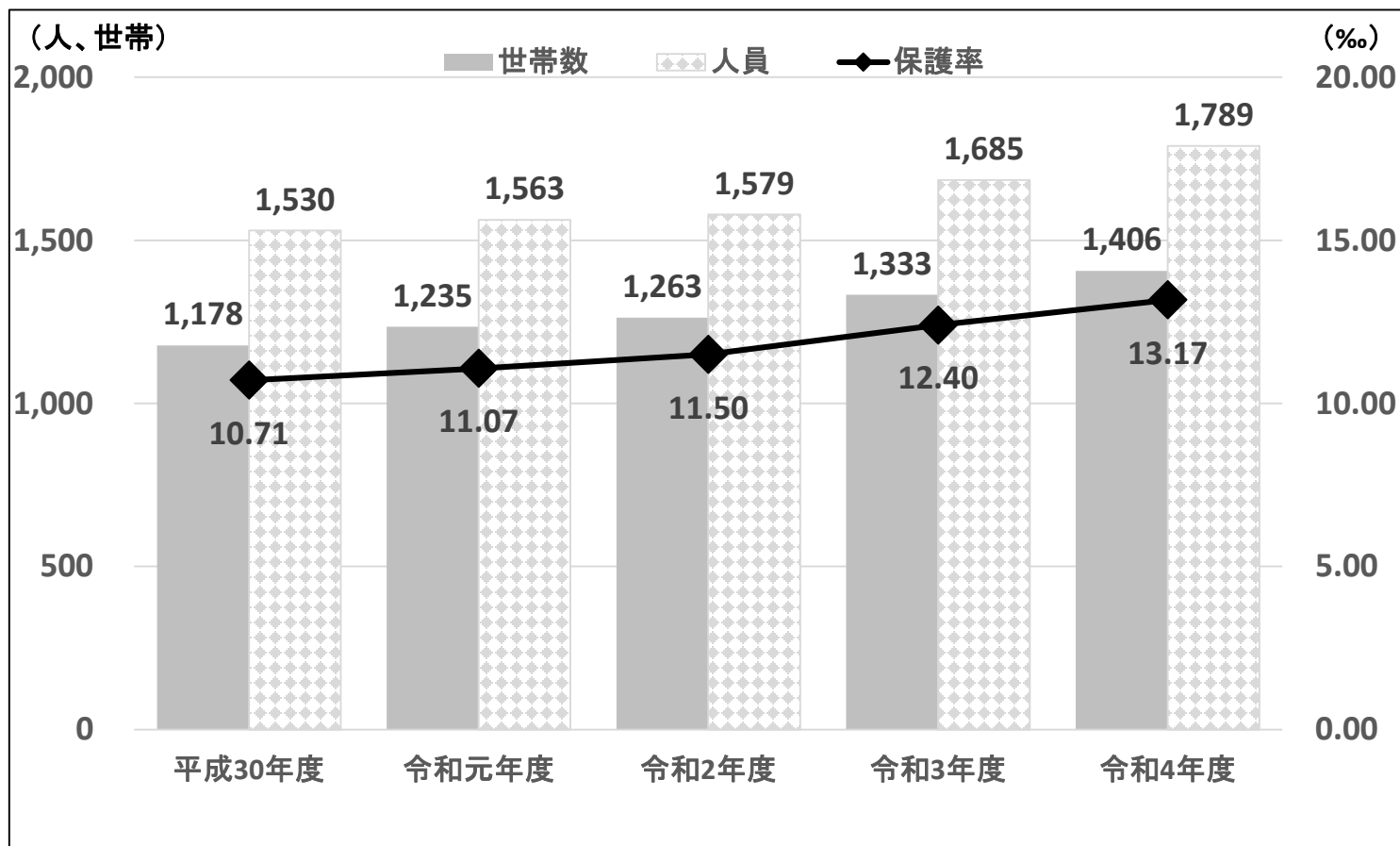
●障害者手帳の交付者数の推移



■障害のある人（手帳交付者）の総数は、ほぼ横ばいであるが、障害種別では、知的障害者、精神障害者が増加傾向となっている。

石巻市の現状と課題

●生活保護世帯、人員の推移



■ 被保護世帯及び被保護人員、保護率のすべてにおいて、増加傾向となっている。

石巻市の現状と課題

●平均寿命・健康寿命・不健康な期間

資料：データからみたみやぎの健康

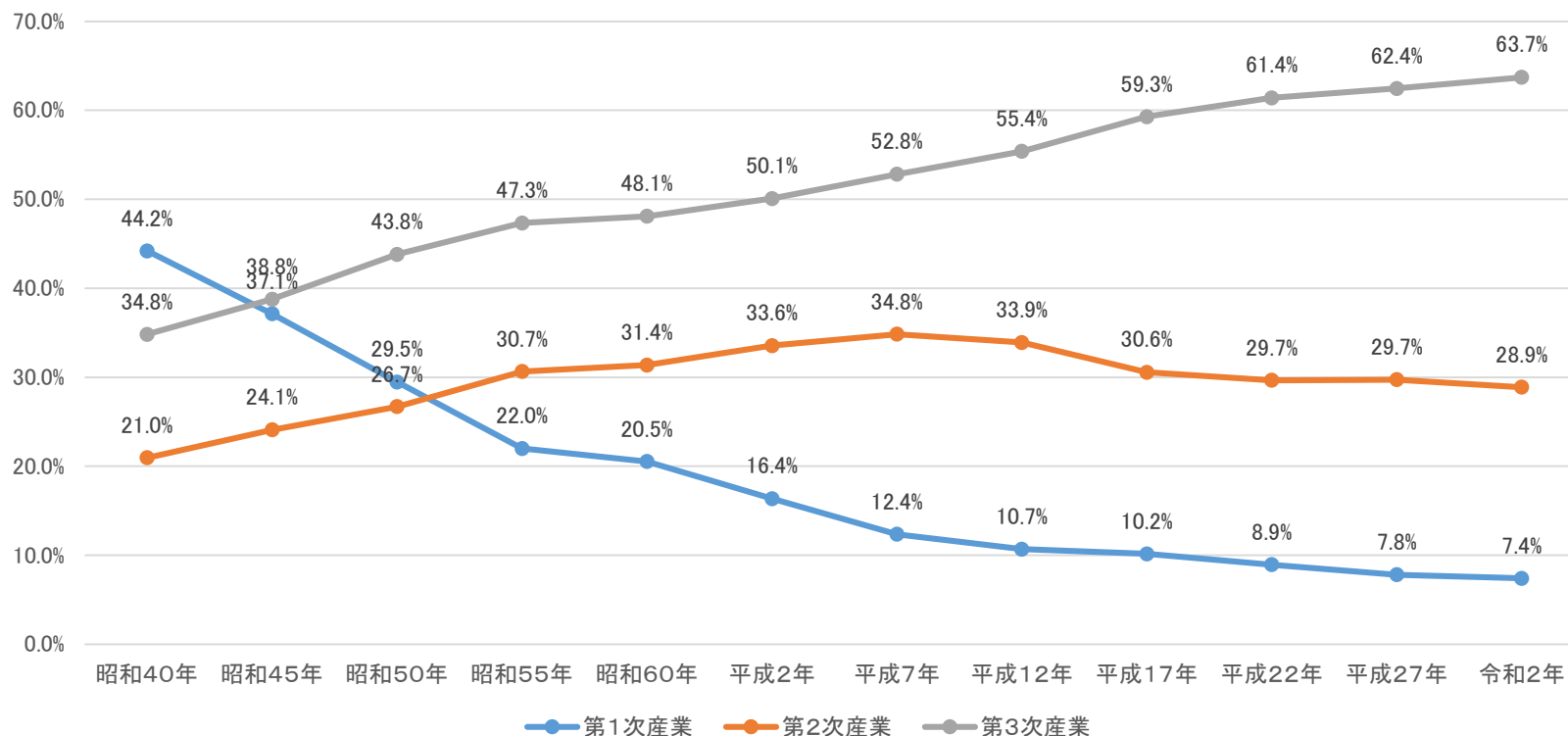
令和2年	平均寿命				健康寿命				不健康な期間			
	男	順位	女	順位	男	順位	女	順位	男	順位	女	順位
宮城県	81.42歳		87.24歳		80.05歳		84.17歳		1.37年		3.07年	
石巻市	80.43歳	29	86.71歳	23	79.18歳	26	83.75歳	18	1.25年	7	2.96年	12
仙台市	81.95歳	7	87.87歳	4	80.70歳	6	84.93歳	1	1.24年	6	2.94年	10
角田市	81.47歳	12	86.25歳	30	80.29歳	7	83.47歳	26	1.18年	4	2.78年	5
東松島市	80.80歳	20	86.44歳	27	79.61歳	14	83.83歳	17	1.19年	5	2.62年	3
富谷市	83.58歳	2	87.99歳	2	81.86歳	2	84.18歳	11	1.72年	29	3.81年	30
蔵王町	80.65歳	25	87.92歳	3	79.29歳	23	84.86歳	2	1.36年	14	3.06年	15
七ヶ宿町	79.06歳	35	84.50歳	35	77.75歳	35	82.12歳	34	1.31年	10	2.38年	2
大河原町	81.63歳	9	86.49歳	26	80.80歳	4	84.72歳	4	0.83年	1	1.76年	1
川崎町	82.30歳	3	86.97歳	20	80.11歳	10	82.94歳	30	2.19年	35	4.03年	33
利府町	83.61歳	1	87.36歳	12	82.09歳	1	84.20歳	10	1.51年	22	3.16年	20
色麻町	81.01歳	16	85.11歳	33	79.46歳	19	82.31歳	33	1.55年	24	2.80年	6
涌谷町	79.66歳	33	85.13歳	32	78.61歳	31	82.33歳	32	1.05年	2	2.81年	7
美里町	80.63歳	26	87.28歳	14	79.54歳	15	84.55歳	5	1.09年	3	2.73年	4
女川町	82.20歳	5	87.83歳	5	80.82歳	3	84.74歳	3	1.37年	15	3.09年	16
南三陸町	79.14歳	34	86.99歳	19	77.83歳	34	83.90歳	15	1.31年	9	3.10年	18

※赤字表示は、人口1万2千人未満のため、ばらつきが大きく参考値として算出されているもの。

■男性、女性ともに、平均寿命、健康寿命は宮城県平均を下回っているが、不健康な期間は宮城県平均よりも短い。

石巻市の現状と課題

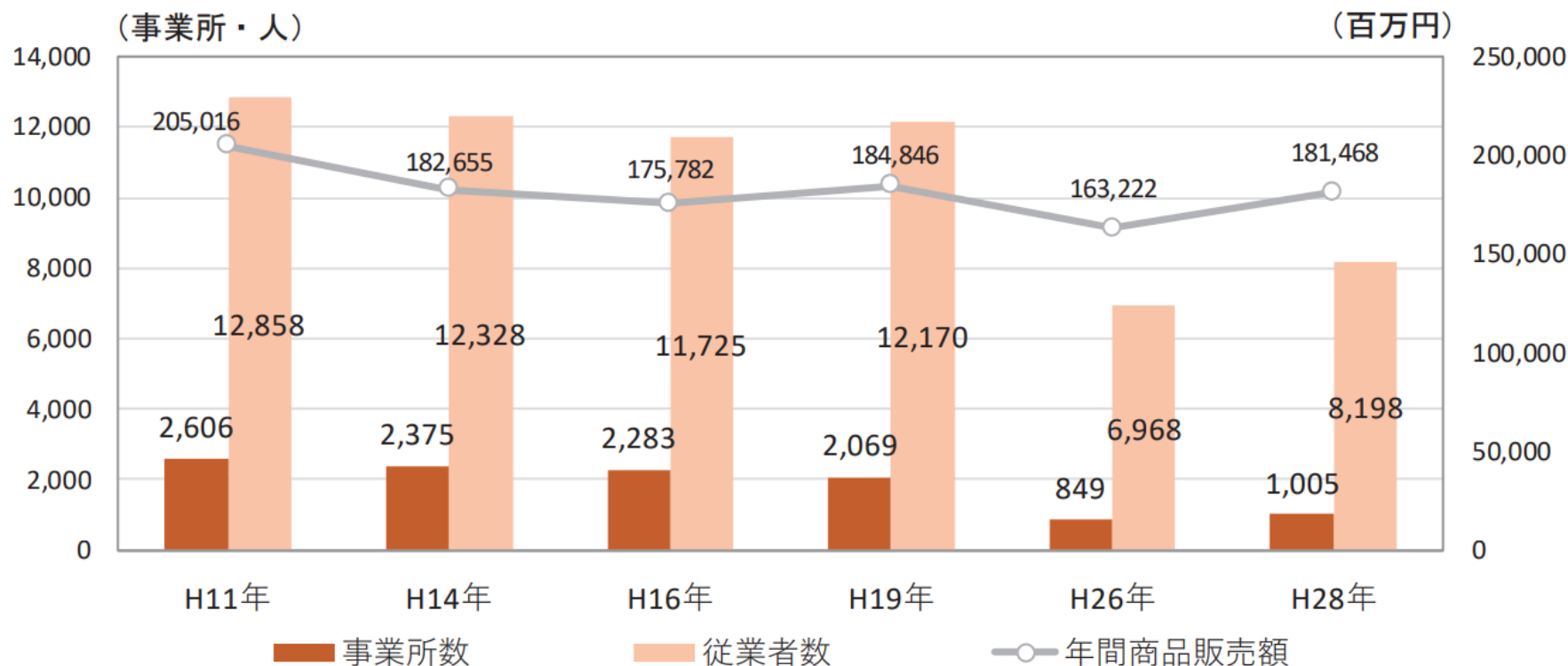
●産業大分類別人口構成比の推移



- 平成27年では、第3次産業就業人口が61.9%で最も高く、昭和45年に第1次産業就業人口比を超えて以降、増加傾向にある。
- 一方、第1次産業は右肩上がりで減少傾向が続いている。

石巻市の現状と課題

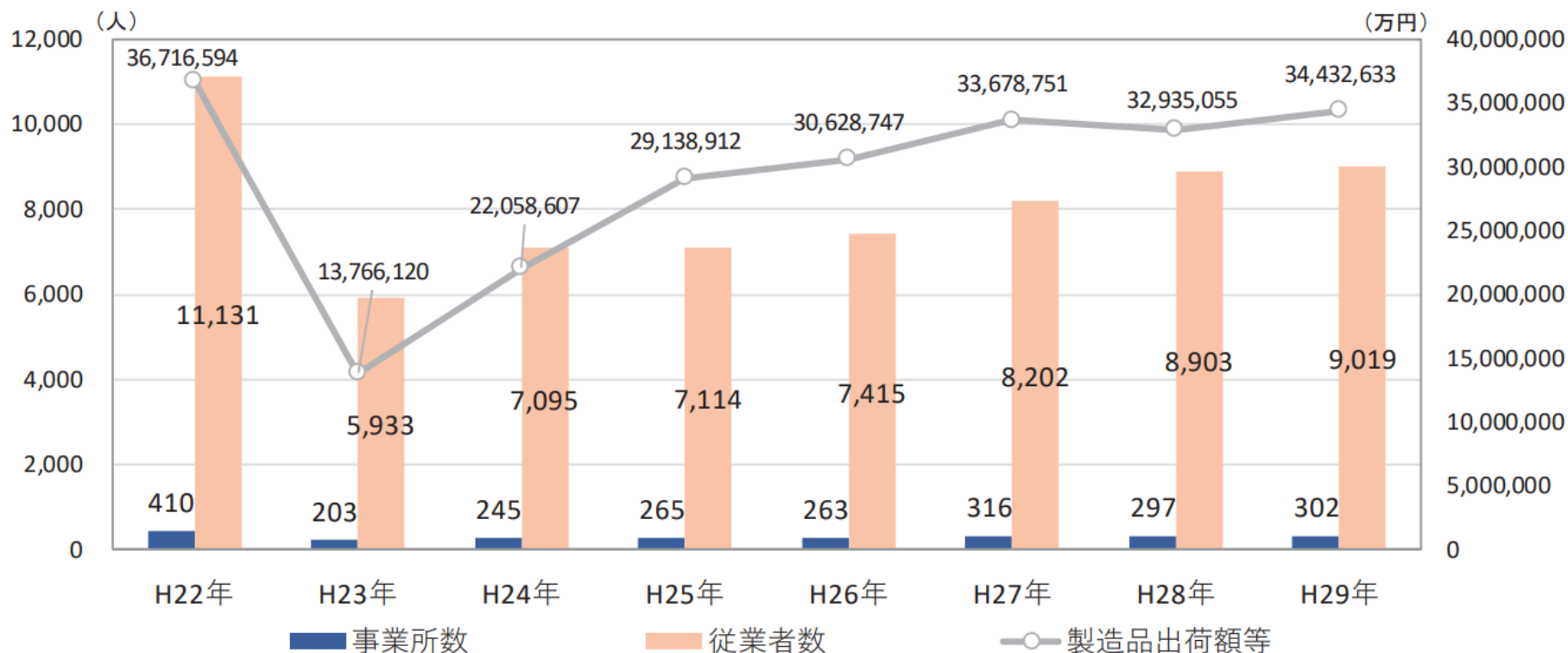
●小売業事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移



- 小売業事業所数は、震災前（平成19年）からほぼ半減した状態。
- 小売業従業者数は、平成19年の33%の減少となっている。
- 一方、小売業の年間商品販売額は、震災により減少したものの、震災前と同水準の1,800億円近くまで回復している。

石巻市の現状と課題

●工業事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移（従業員4人以上の事業所）

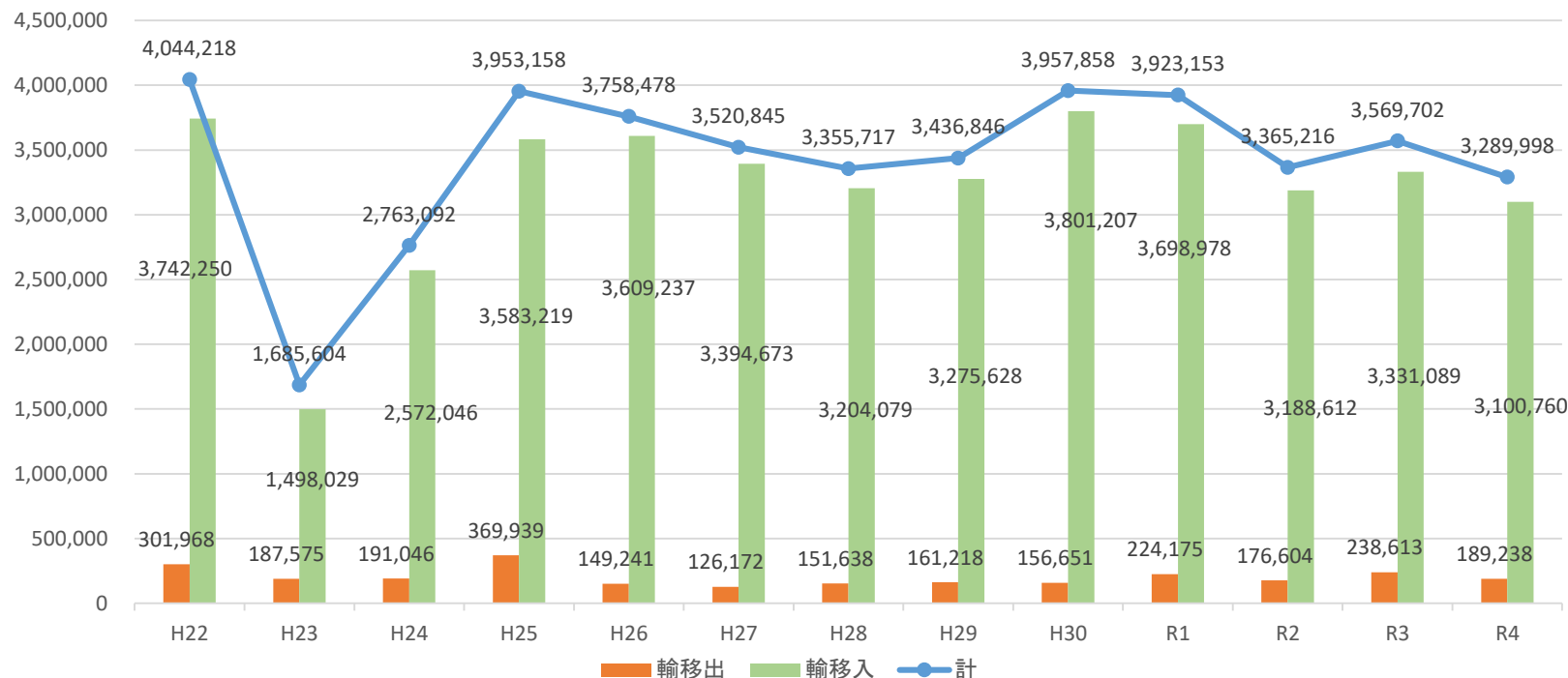


資料：工業統計調査

- 事業所数は、震災前に比べて26%減少している。
- 従業者数は、平成22年に比べ19%減少している。
- 製造品出荷額等は、平成23年からの推移をみると、事業所数、従業者数に比べ、回復基調にある。

石巻市の現状と課題

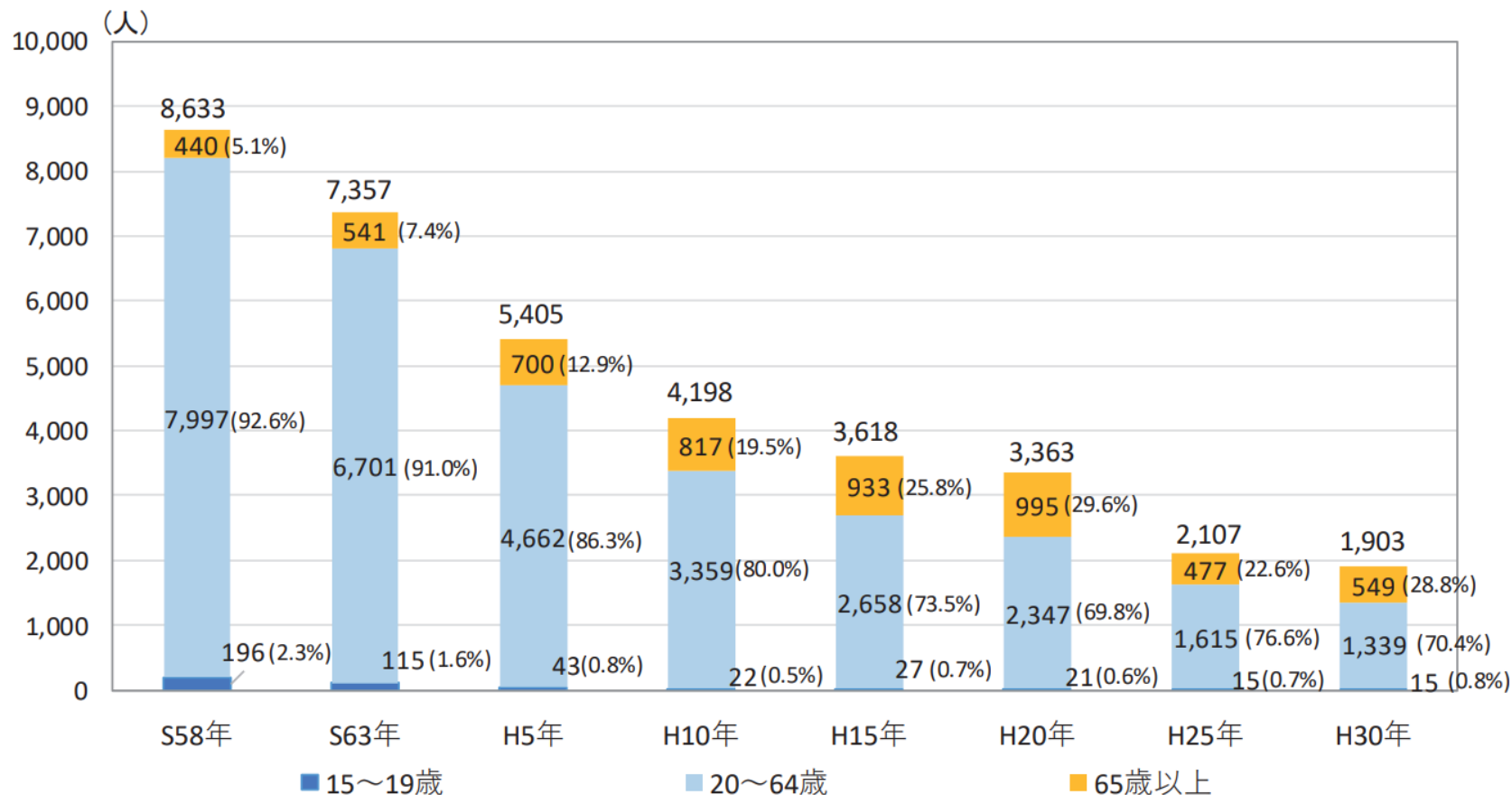
●石巻港地区海上出入貨物の合計数



■石巻港の取扱量（輸移出・輸移入の合計）は、震災後、平成25年までは増加し、その後、減少に転じていたが、平成30年では震災前の規模に回復した。

石巻市の現状と課題

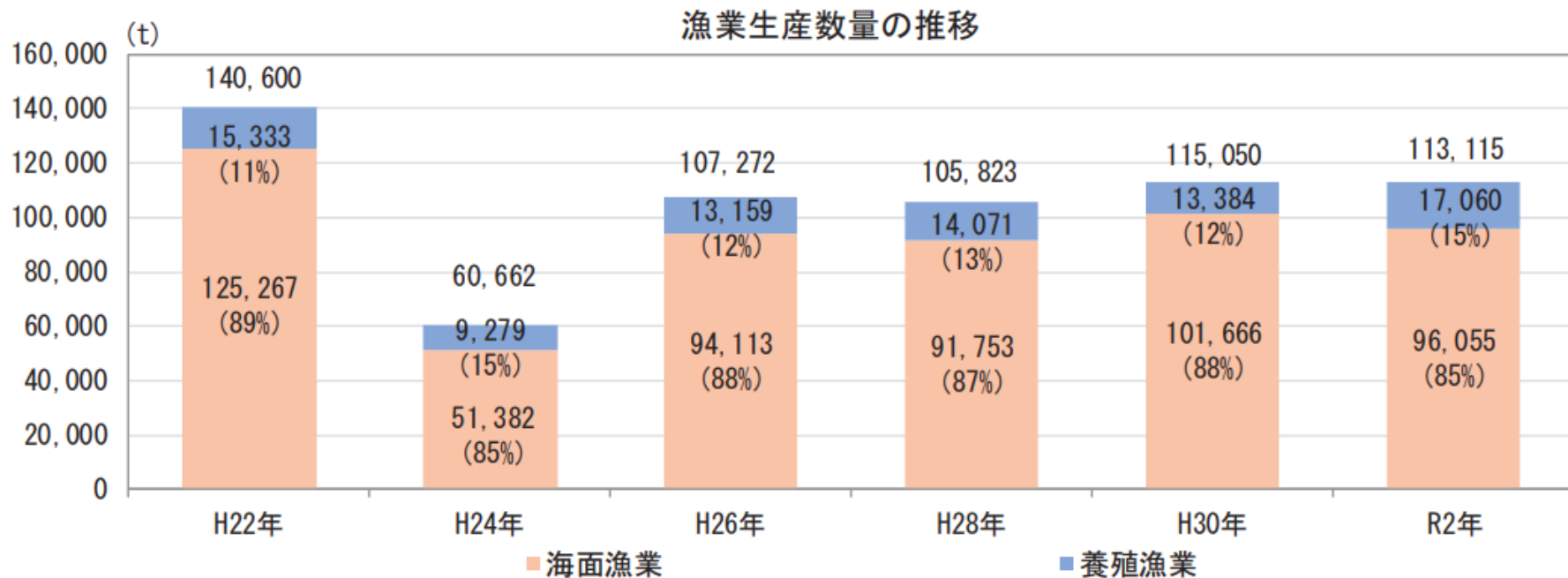
●漁業従事者等の状況



- 漁業従事者は、昭和58年をピークに減少傾向にあり、平成30年には、2千人を切り、昭和58年の22.0%まで減少している。
- 年齢構成比では、平成30年で65歳以上が3割程度を占めている。

石巻市の現状と課題

●漁業生産量の状況



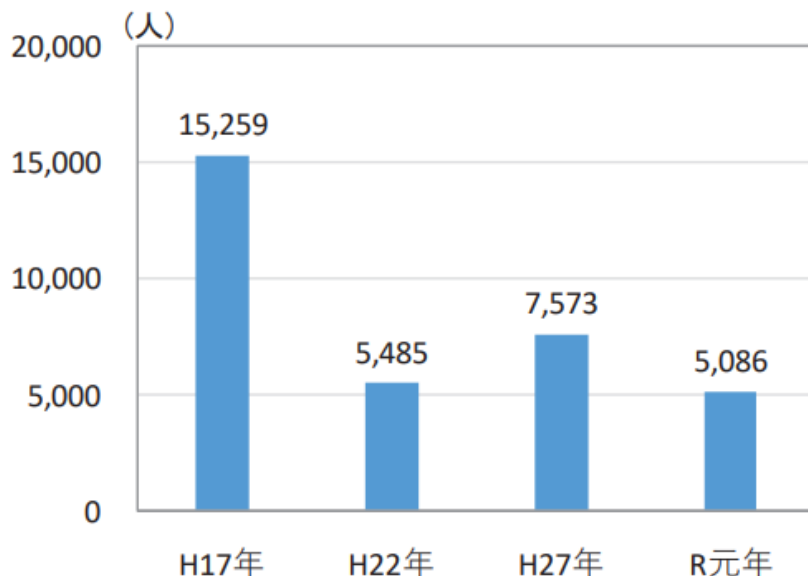
資料：魚種別水揚げ統計（石巻市水産物地方卸売市場管理事務所）集計期間：平成 22～令和 2 年
石巻市内漁協共販データ（石巻市水産課） 集計期間：平成 22～令和 2 年

■ 漁業生産数量（海面漁業＋養殖漁業）は、震災の影響により大きく減少したものの、令和 2 年には 113,115 t の生産量となり、概ね震災前の水準まで回復している。

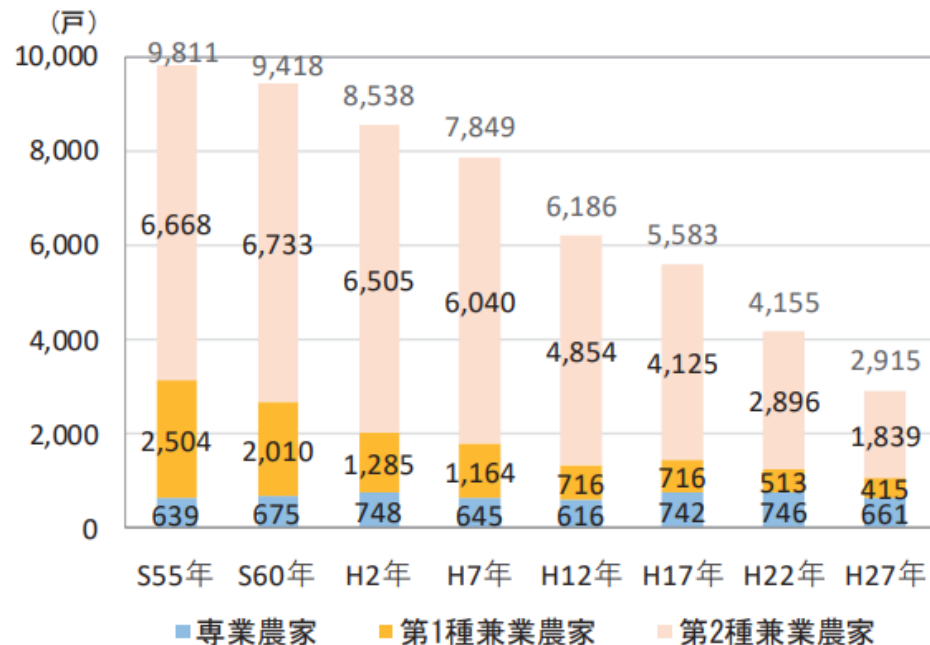
石巻市の現状と課題

●農林業の状況

農業従事者の推移



農家数の推移

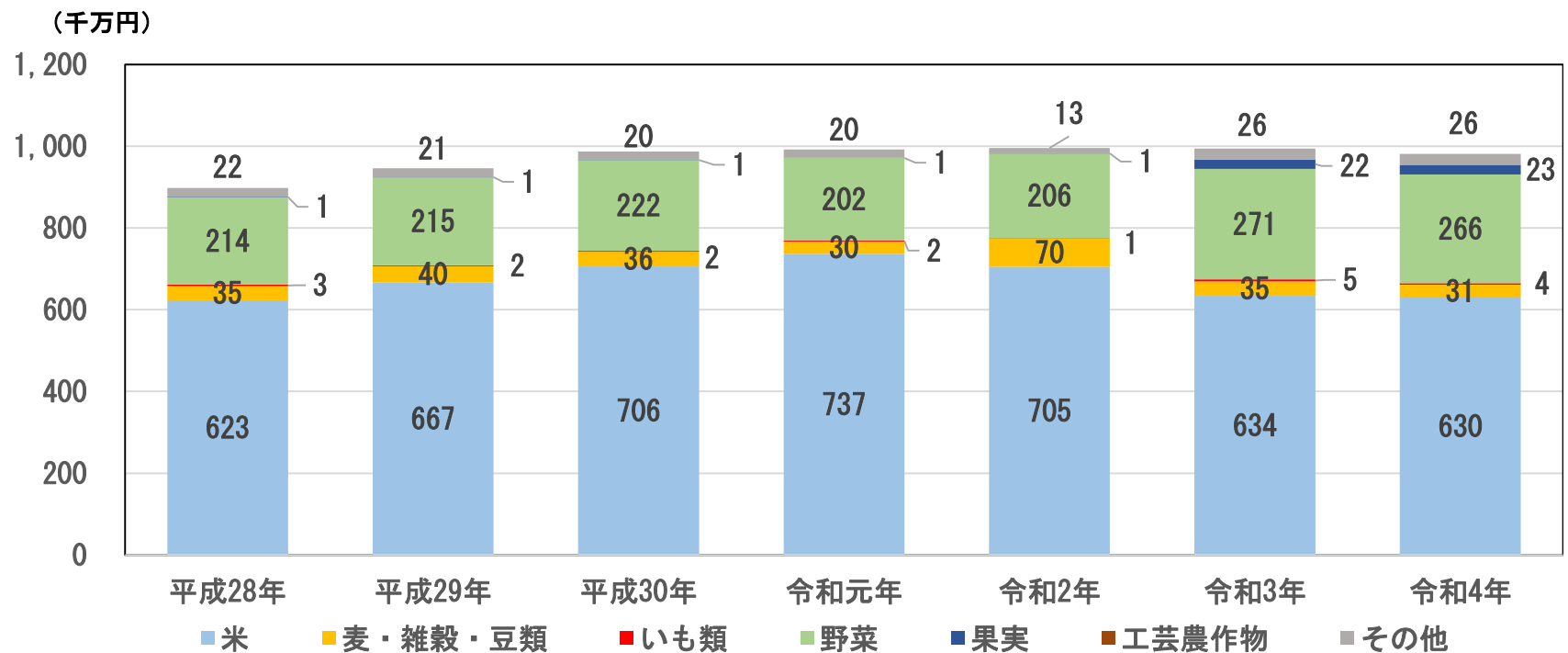


資料：農林業センサス

- 農業従事者数は、平成17年と比べて、令和元年には3割程度まで減少している。
- 農家数は、第1種及び第2種兼業農家の減少が進む一方、専業農家は600から700戸台で一定数が維持されている。

石巻市の現状と課題

●農業生産量の状況(農業産出額の推移(耕種))



資料: 石巻市統計書第5章
※農林水産省大臣官房統計部「生産農業所得統計」

- 農業産出額は、近年は横ばい状況である。
- 各年とも「米」の占める割合が最も高く、次いで「野菜」となっている。

石巻市の現状と課題

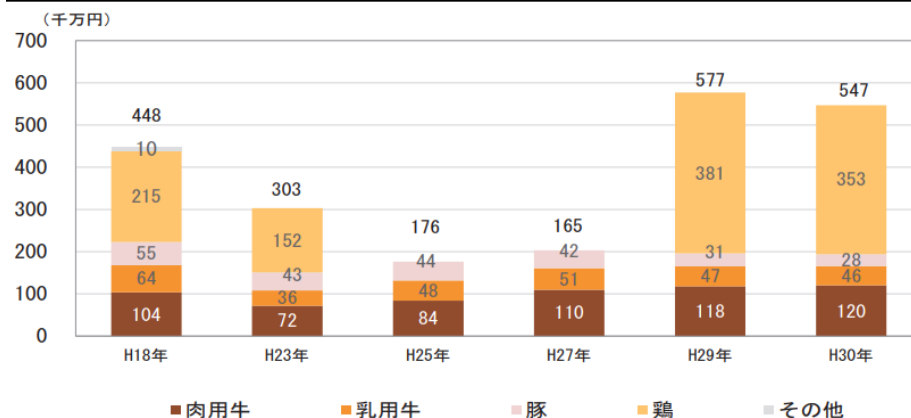
●農業生産量の状況(農業産出額の推移(畜産))

家畜飼養農家数(平成17年度以降は経営体数)と飼養頭羽数

年	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
	農家数 (戸)	頭数 (頭)	農家数・経 営体数(戸)	飼養頭数 (頭)	農家数・経 営体数(戸)	飼養頭数 (頭)	農家数・経 営体数(戸)	飼養羽数 (100羽)	農家数・経 営体数(戸)	飼養羽数 (100羽)
H12	65	1,466	396	5,618	36	11,000+x	22	x	10	6,860+x
H17	57	1,215+x	275	4,800	20	9,243	19	208+x	10	5,705+x
H22	32	827+x	201	4,052+x	9	4,547+x	11	202+x	8	5,070+x
H27	25	700	122	x	8	3,412	7	452	4	2,760
R2	19	684	96	3,035	5	4,510	2	x	9	27,748

資料：農林業センサス

* Xは旧市町単位で秘匿データのため非開示



資料：石巻市統計書第5章(農林水産省大臣官房統計部「生産農業所得統計」)

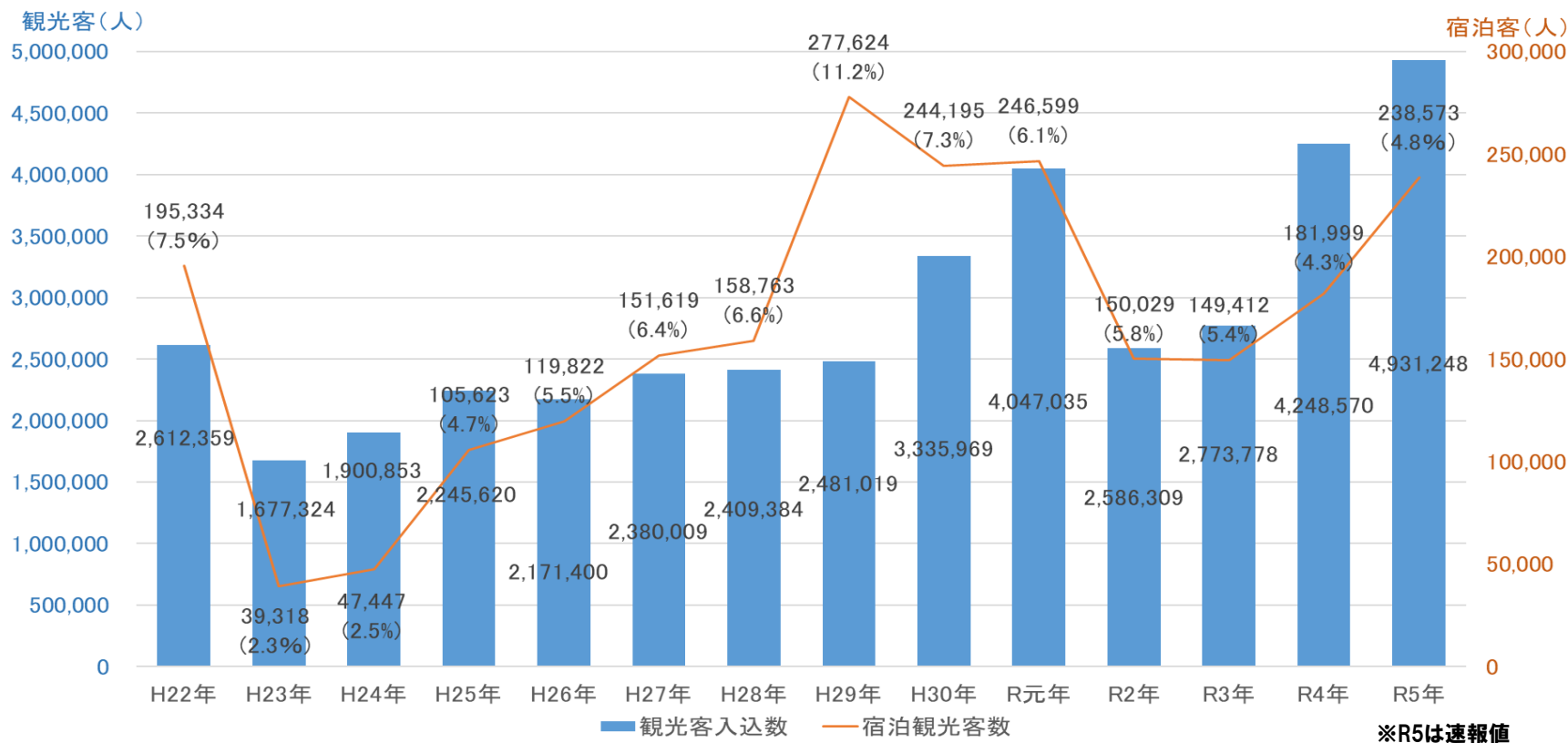
* グラフ中の総数は内数の合計値で表示

* 平成25年、平成27年は鶏・その他秘匿データのため非開示

- 家畜飼養農家数は、減少してきており、飼養頭羽数も「乳用牛」「肉用牛」、「豚」、「採卵鶏」は減少している一方、「ブロイラー」の飼養羽数は伸び(平成22～平成27年)がみられる。
- 産出額(畜産)でみると、「鶏」の増加が大きくなっている。

石巻市の現状と課題

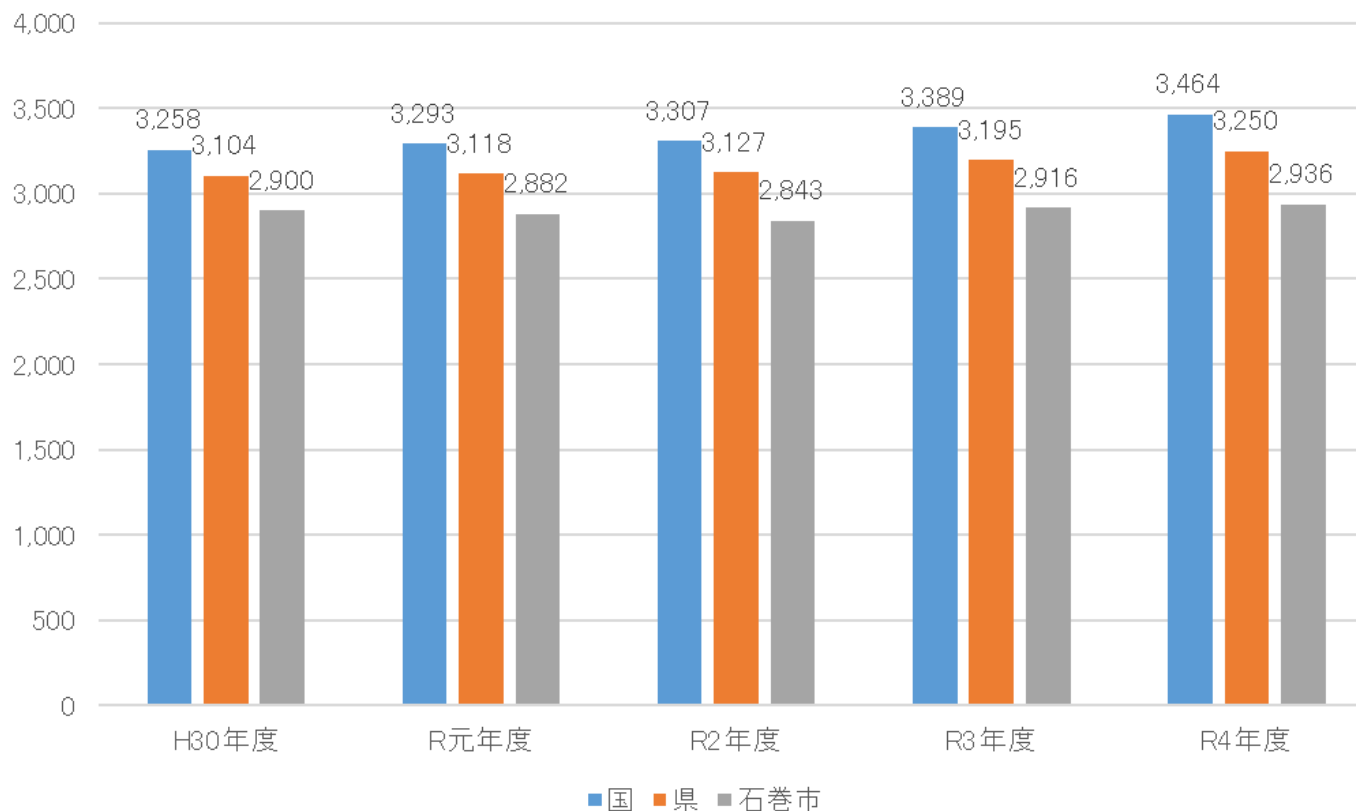
●観光客入込数、宿泊観光客数の推移



- 震災により、観光客入込数、宿泊観光客数ともに大きく減少したが、徐々に増加し、入込数は令和元年には400万人を超えた。
- コロナの影響により、令和2年、3年は減少したが制限の解除により、令和5年の入込数は490万人を超えた。

石巻市の現状と課題

●人口一人当たりの課税対象所得

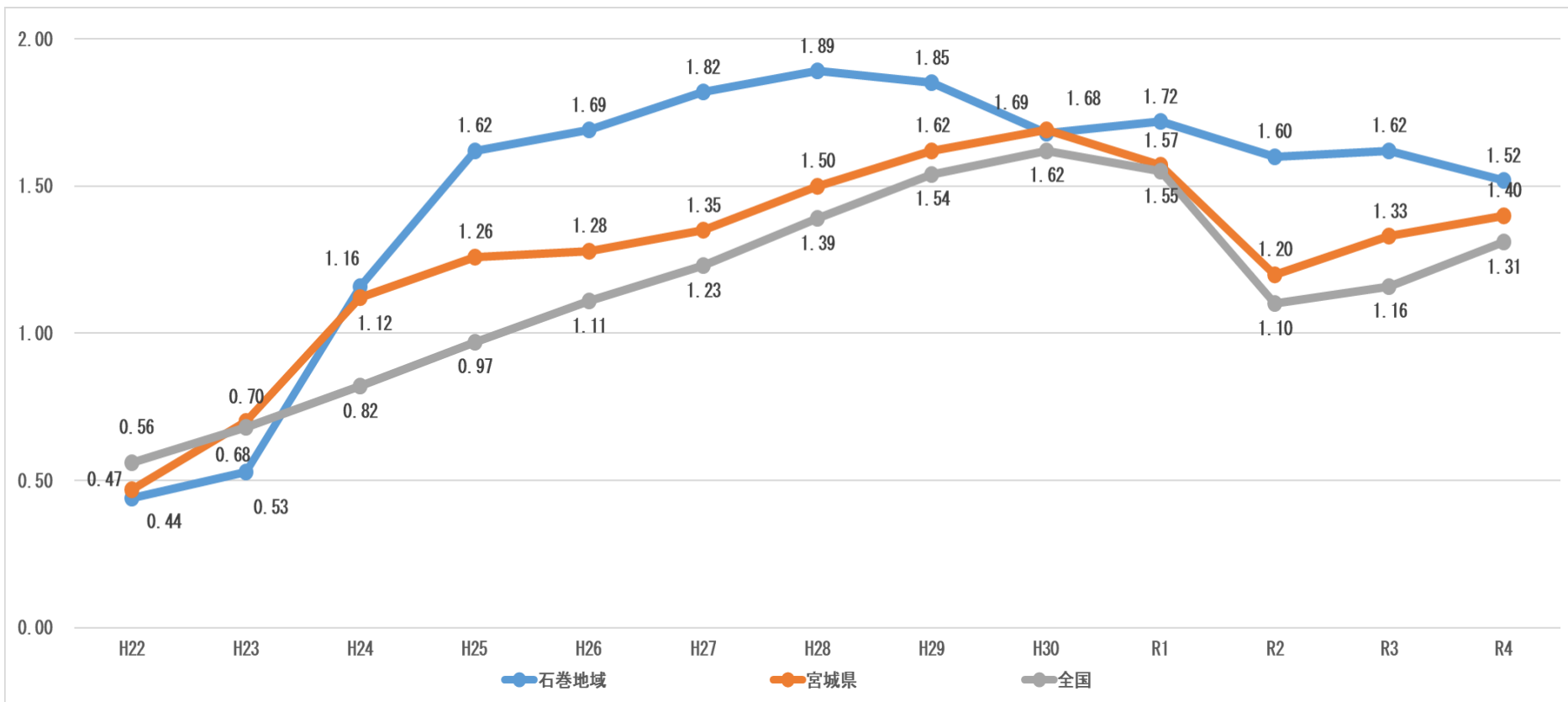


資料：総務省市町村税課税状況等の調

■ 石巻市の令和4年度の人口1人当たり課税対象所得額は全国、宮城県と比べてやや低く、宮城県内市部では6番目に位置している。

石巻市の現状と課題

●雇用の状況(有効求人倍率の推移)

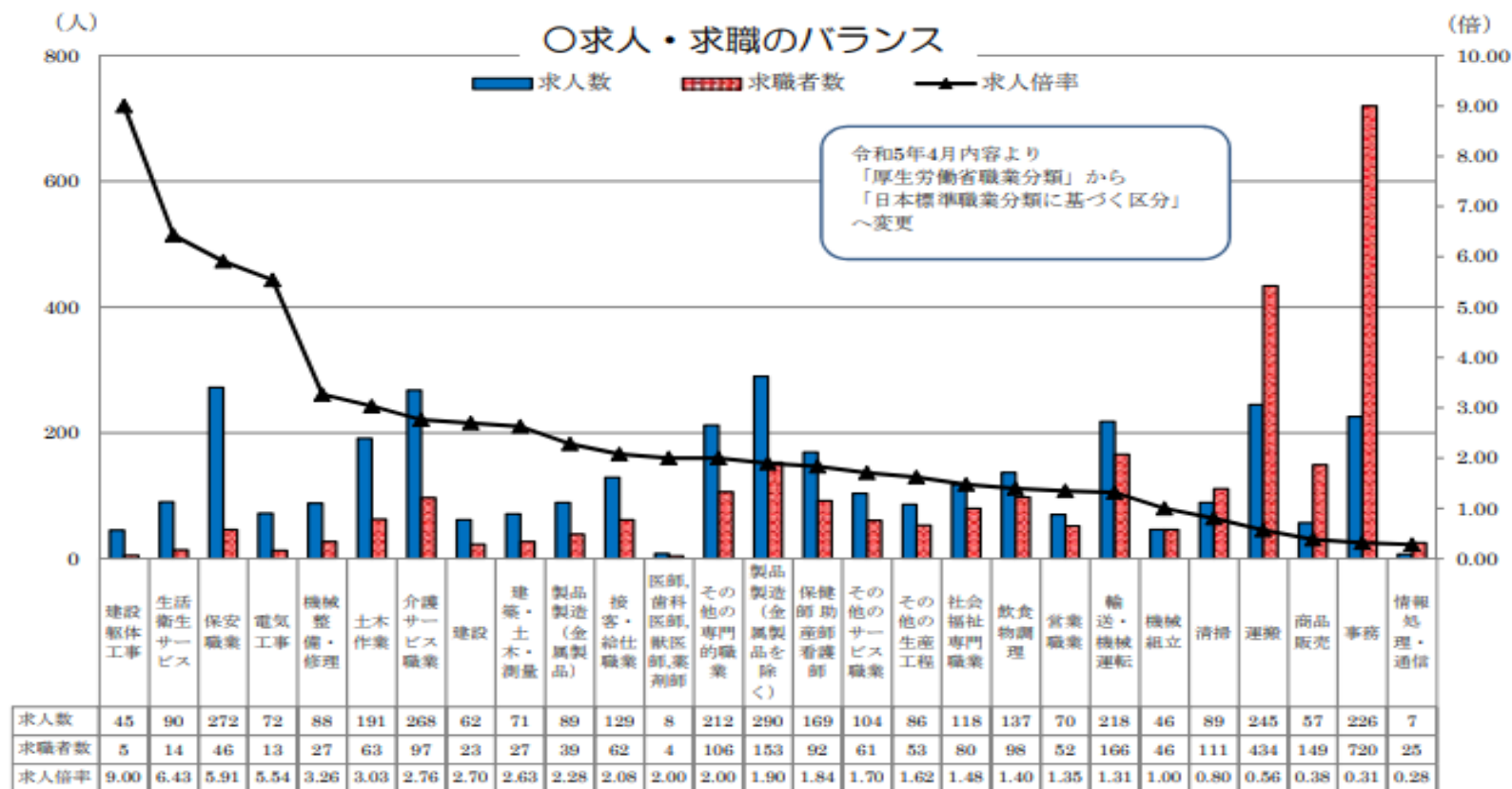


資料：石巻市HP統計書第4章、厚生労働省 職業安定業務統計

■石巻地域の有効求人倍率は、令和2年度で1.60倍となっており、全国の1.10倍、宮城県1.20倍を大きく上回っている。

石巻市の現状と課題

●雇用の状況(業種別有効求人倍率(石巻職業安定所管内:令和6年4月時点))

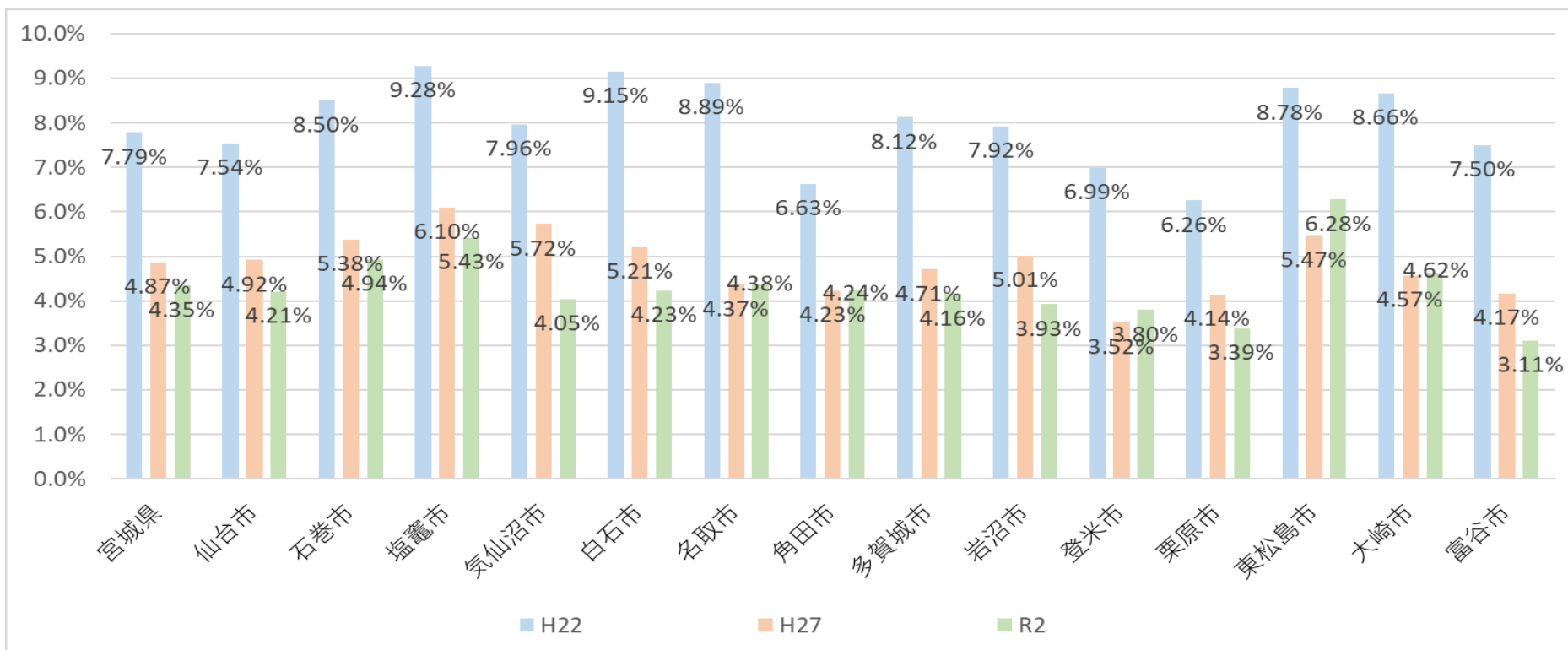


資料:石巻職業安定所 月報いしのまき(令和6年6月号)

■業種別の倍率では、「製品製造」、「保安職業」、「介護サービス職業」の順に高くなっている一方、求職者数の多い「事務」などの倍率は低く、特定職種でのミスマッチが生じている。

石巻市の現状と課題

●雇用の状況(失業率の状況)



資料:国勢調査(平成22年、平成27年、令和2年)

■令和2年の失業率は4.94%で、平成27年からは改善がみられるが、県内14市中3番目に高い値となっている。

■失業率は、平成27年と令和2年を比較すると、宮城県は緩やかな低下となっており石巻市も同様な傾向である。

石巻市の現状と課題

●全国学力・学習状況調査

1 正答率一覧(単位%) (「正答率」は、満点を100点としたときの「点数」と同じです。)

校種	教科	年度	①	②	③	全国との差	標準化得点	宮城県との差
			全国	宮城県	石巻市			
			※公立	(仙台市を除く)		③－①		③－②
小学校	国語	R5	67	65	64	▲ 3	98	▲ 1
		R4	66	62	62	▲ 4	98	0
	算数	R5	63	58	57	▲ 6	98	▲ 1
		R4	63	58	57	▲ 6	97	▲ 1
中学校	国語	R5	70	68	64	▲ 6	97	▲ 4
		R4	69	68	66	▲ 3	99	▲ 2
	数学	R5	51	44	41	▲ 10	96	▲ 3
		R4	51	45	44	▲ 7	97	▲ 1
	英語	R5	46	39	36	▲ 10	96	▲ 3
		H31	56	53	48	▲ 8	96	▲ 5

■国語、算数（数学）ともに、正答率は、全国・宮城県の平均値より低く、特に小学校より、中学校の方が差が広がっている。

■英語は、全国との差が大きくなっている。

石巻市の現状と課題

●全国学力・学習状況調査

2 その他調査(児童生徒質問紙調査)(単位%)

注1) 質問項目の内容については以下のとおりです。

「夢や希望」: 将来の目標や夢をもっているか。

「自分で計画」: 家で、自分で計画を立てて勉強しているか。

「地域参画」: 今住んでいる地域行事に参加しているか。

注2) 回答は、「そう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の合計です。

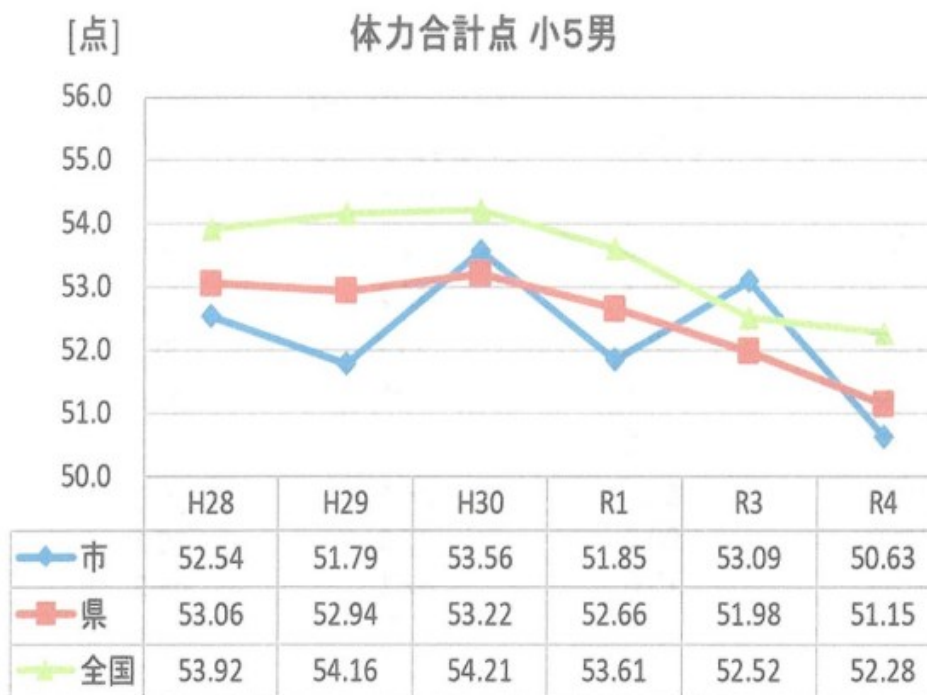
校種	質問項目	年度	①	②	③	全国との差	宮城県との差
			全国 ※公立	宮城県	石巻市	③－①	③－②
小学校	夢や希望	R5	81.5	82.3	79.7	▲ 1.8	▲ 2.6
		R4	79.8	79.1	81.8	2.0	2.7
	自分で計画	R5	70.7	71.6	72.2	1.5	0.6
		R4	71.1	72.7	74.4	3.3	1.7
	地域参画	R5	57.8	58.5	60.1	2.3	1.6
		R4	52.7	56.4	54.5	1.8	▲ 1.9
中学校	夢や希望	R5	66.3	66.5	65.9	▲ 0.4	▲ 0.6
		R4	67.3	68.7	70.1	2.8	1.4
	自分で計画	R5	55.0	59.5	53.9	▲ 1.1	▲ 5.6
		R4	58.5	65.0	65.6	7.1	0.6
	地域参画	R5	38.0	38.3	39.1	1.1	0.8
		R4	40.0	40.1	43.9	3.9	3.8

=全国・県より数値が高い

- 「将来の夢や希望をもっている」の項目は、小学校・中学校ともに、全国・宮城県より低い。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強している」の項目は、小学校では全国・宮城県より高いが、中学校では、全国・宮城県よりも低くなっている。

石巻市の現状と課題

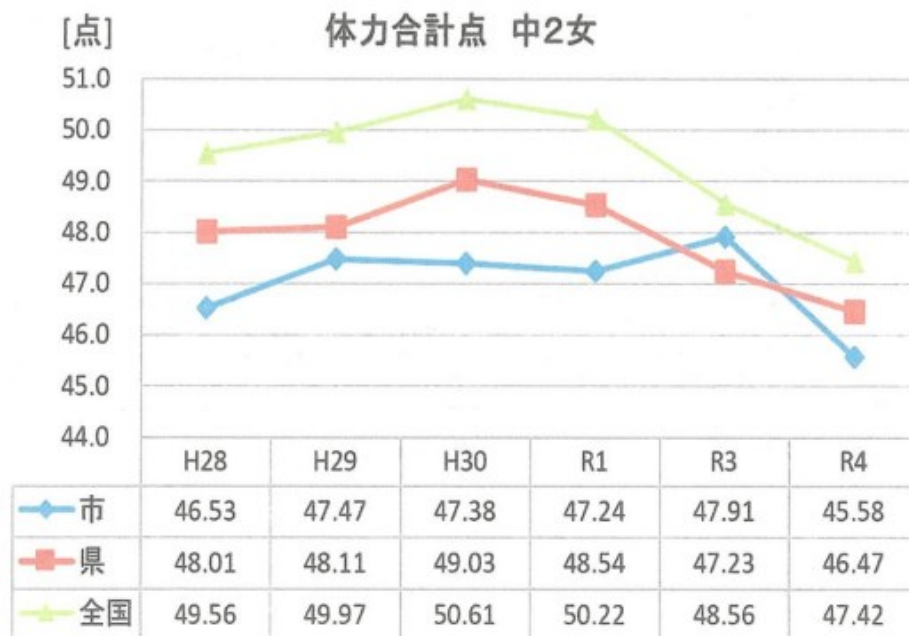
●全国体力・運動能力、運動習慣等調査



- 令和元年度以降、全国、宮城県とも、体力総合点は下がり続けている。
- 本市は令和3年度に男女とも全国・宮城県を上回ったが令和4年度は再び、全国・宮城県を下回った。

石巻市の現状と課題

●全国体力・運動能力、運動習慣等調査



- 平成28年度以降、男子については、令和3年度を除き、すべての年度で全国・宮城県を下回っている。
- 女子は、すべての年度で全国を下回り、宮城県との比較では、令和3年度を除き、すべての年度で下回っている。

石巻市の現状と課題

●全国体力・運動能力、運動習慣等調査

	朝食を毎日食べる 児童の割合 (%)	平日学習以外でテレビ やDVD、ゲーム機、 スマホ、パソコン等の 画面を3時間以上見て いる児童の割合 (%)	睡眠時間が8時間 以上の児童の割合 (%)			朝食を毎日食べる 生徒の割合 (%)	平日学習以外でテレビ やDVD、ゲーム機、 スマホ、パソコン等の 画面を3時間以上見て いる生徒の割合 (%)	睡眠時間が7時間 以上の生徒の割合 (%)
小5男子	全国	82.3	41.1	66.7	中2男子	全国	80.0	47.5
	宮城県	80.4	46.2	64.3		宮城県	80.0	48.9
	石巻市	78.9	50.7	56.3		石巻市	76.7	62.7
	全国との比較	-3.4	9.6	-10.4		全国との比較	-3.3	15.2
	県との比較	-1.5	4.5	-8.0		県との比較	-3.3	13.8
小5女子	全国	81.1	34.8	69.3	中2女子	全国	73.4	45.1
	宮城県	80.2	37.5	70.1		宮城県	72.9	45.7
	石巻市	76.0	42.1	63.9		石巻市	68.5	59.6
	全国との比較	-5.1	7.3	-5.4		全国との比較	-4.9	14.5
	県との比較	-4.2	4.6	-6.2		県との比較	-4.4	13.9

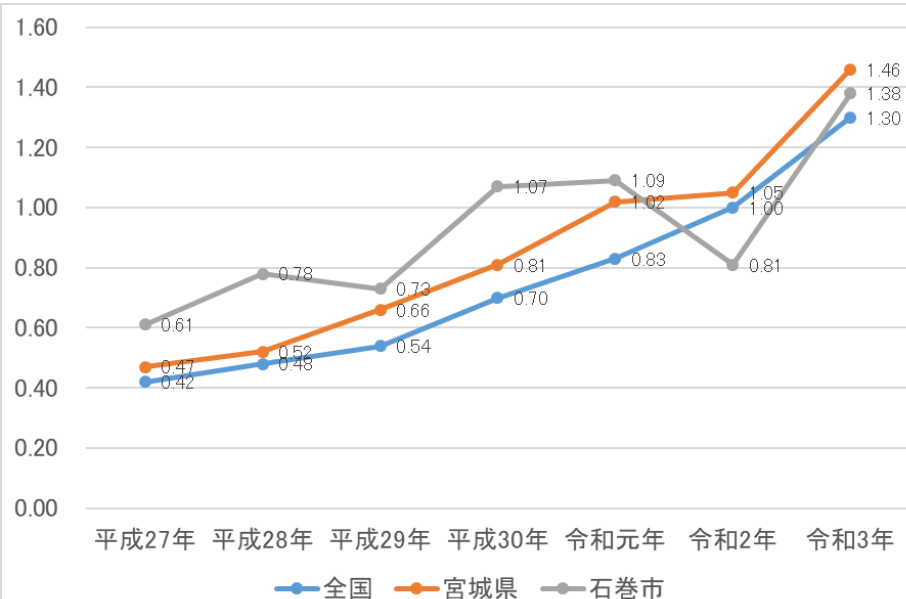
資料：令和4年度児童質問紙集計より

- 小学校・中学校とも、「朝食を毎日食べる割合」が全国・宮城県より低い。
- 「平日学習以外でテレビ等の画面を3時間以上見ている割合」は小学校・中学校とも全国・宮城県より高いが、特に中学校の割合は、10%以上高くなっている。
- 「睡眠時間が7時間以上の割合」の項目は、中学校女子以外は、すべて、全国・宮城県より低くなっている。

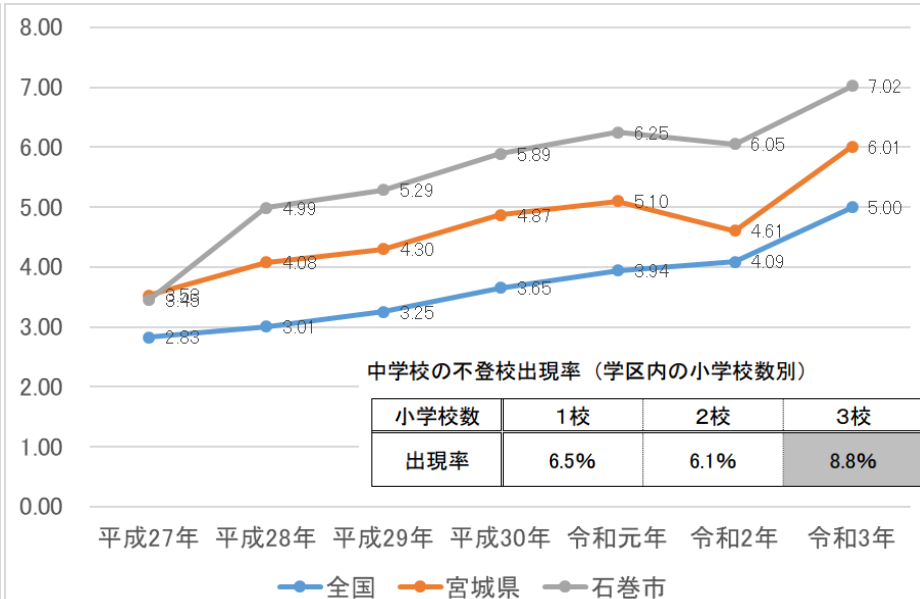
石巻市の現状と課題

●不登校の状況

小学校の不登校出現率



中学校の不登校出現率

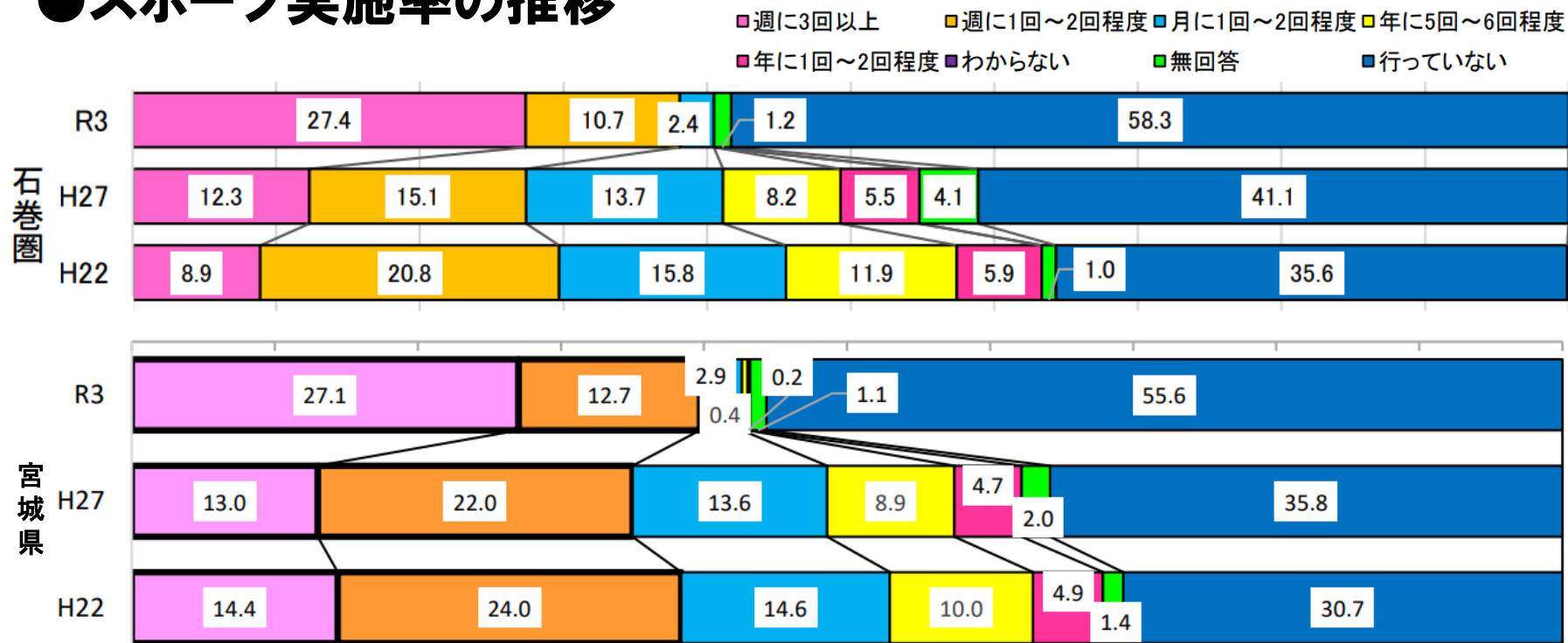


資料：石巻市教育総合会議 資料より引用

- 小学校の不登校出現率は全国、宮城県とも右肩上がりです。上昇しており、本市の出現率も上昇傾向となっています。
- 中学校の不登校出現率も右肩上がりです。上昇しているが、本市の出現率は、全国、宮城県よりも高い傾向で推移しています。
- 小学校3校から中学校1校へ進学するケースは不登校率が高い。

石巻市の現状と課題

●スポーツ実施率の推移



資料: 令和3年度スポーツに関する県民アンケート結果報告書より引用

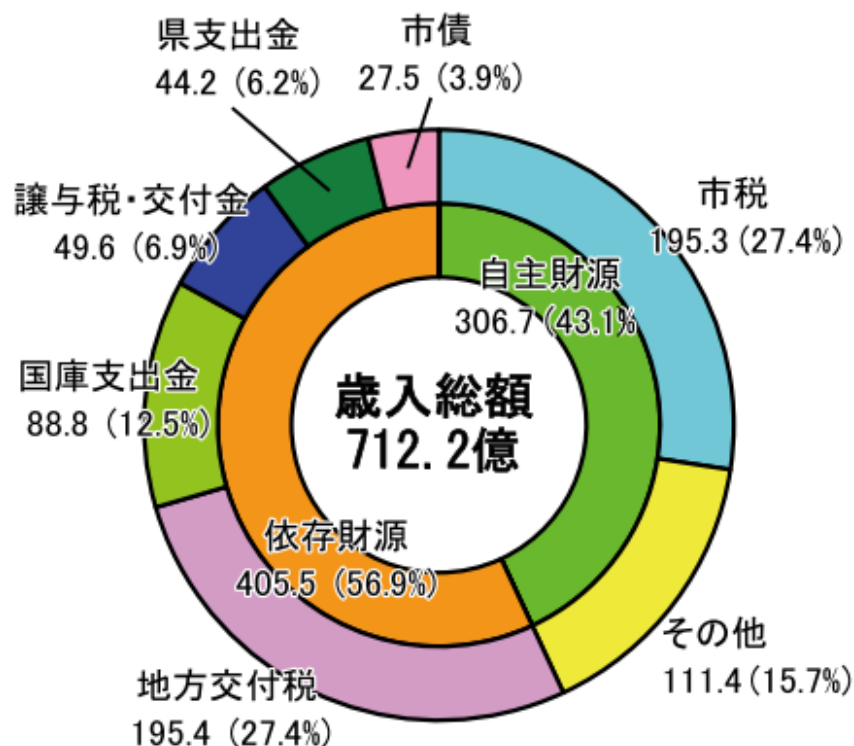
■スポーツ実施率は、「週に3回以上」と回答した割合が大きく上昇したが、一方で、「行っていない」と回答した割合も大きく増えており、運動・スポーツの習慣がある人となない人が極端に分かれている。この傾向は宮城県の傾向とも同様となっている。

石巻市の現状と課題

●令和6年度当初予算の状況(一般会計)

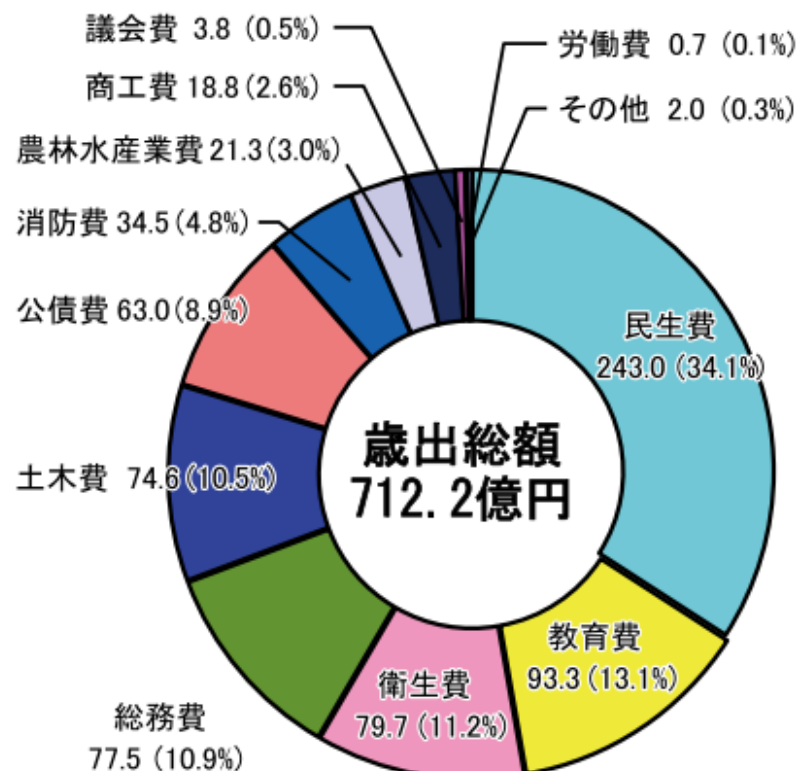
1. 歳入

(単位:億円)



2. 歳出(目的別)

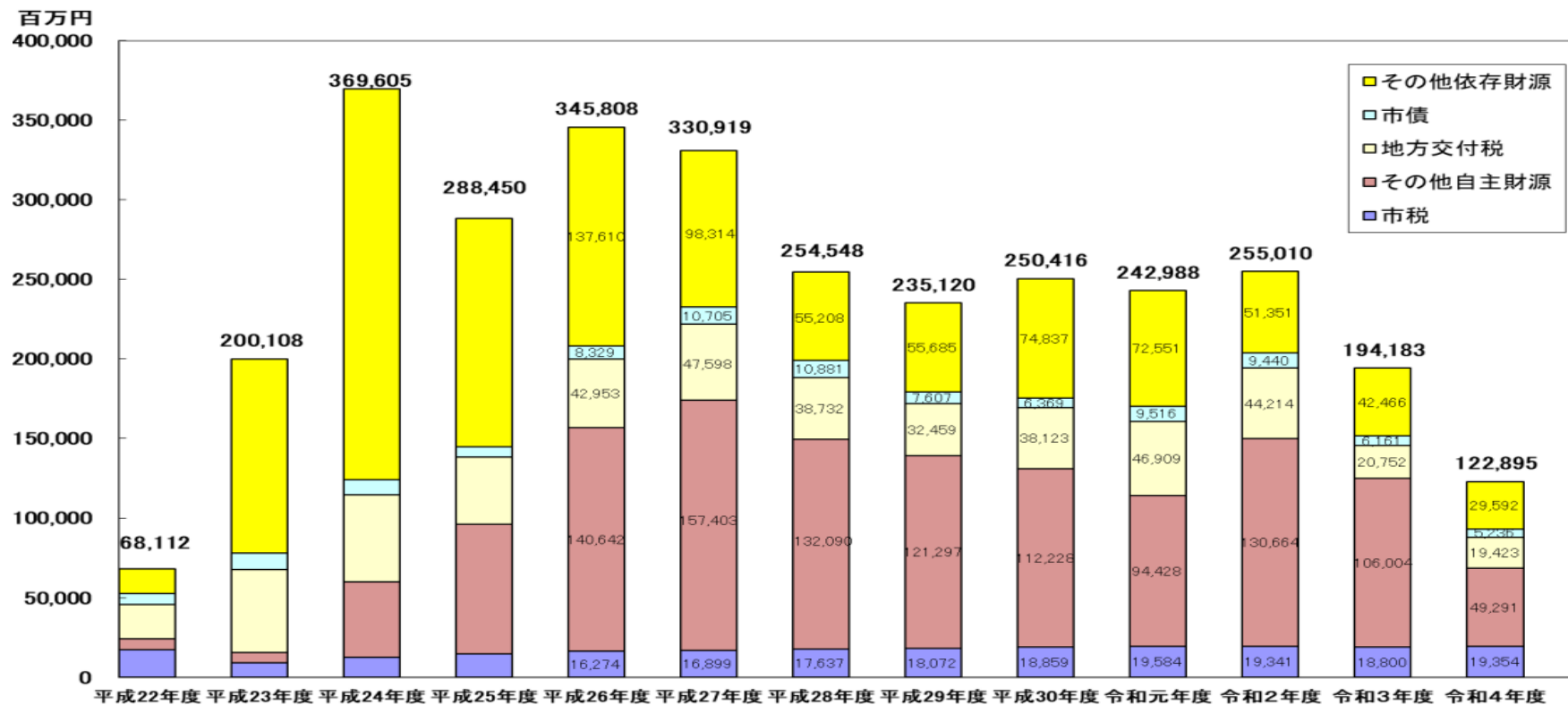
(単位:億円)



- 歳入は地方交付税と市税が54.8%と大きな割合を占めている。
- 歳出は子育て支援関係費などの民生費が34.1%、学校運営などの教育費が13.1%の割合を占めている。

石巻市の現状と課題

●歳入の推移

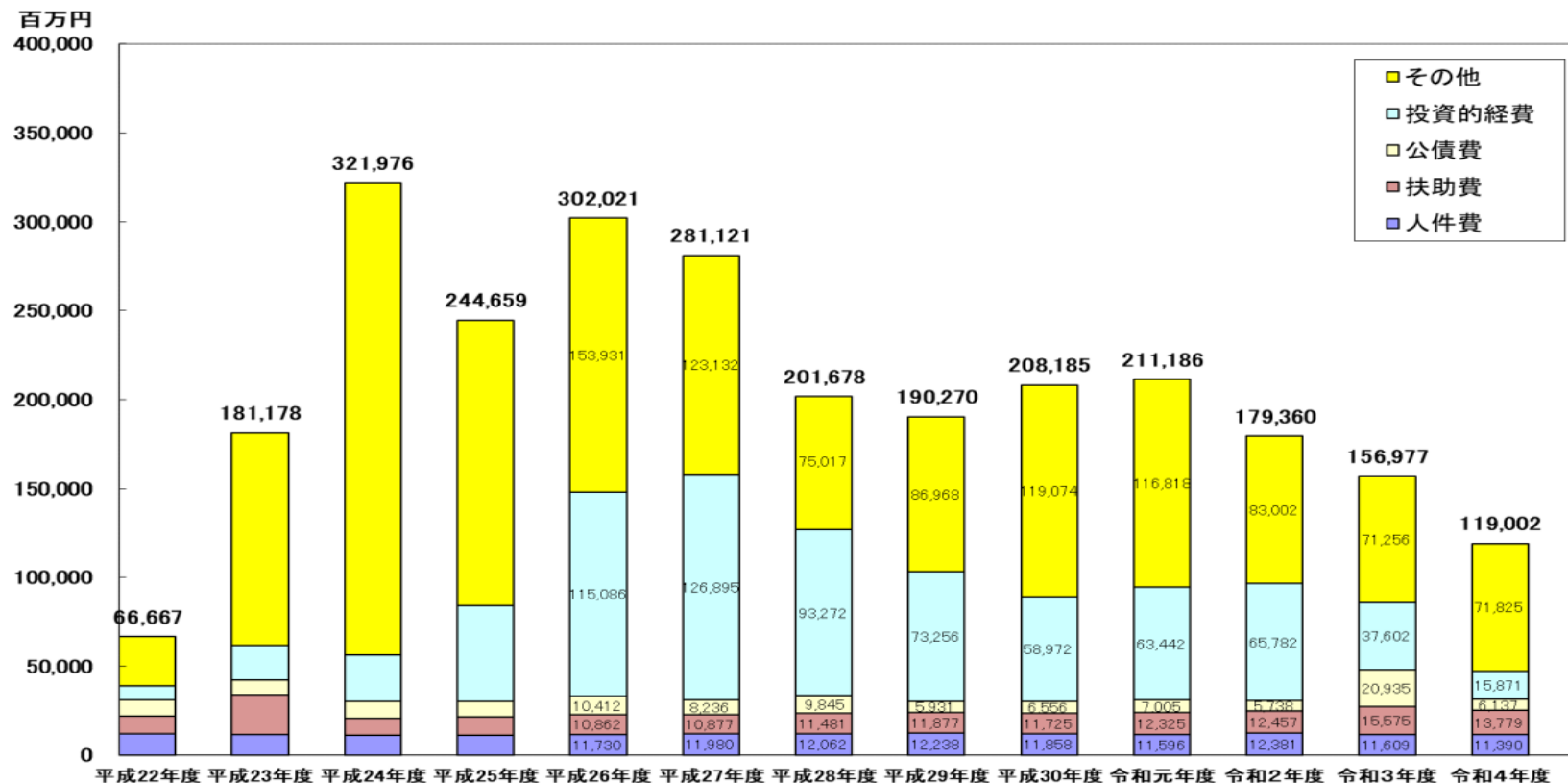


▲ 歳入の推移(決算ベース)

- 震災後の財源構成から、徐々に通常予算へ転換している。
- 歳入総額も震災前の水準へ徐々に減少している。

石巻市の現状と課題

●歳出の推移

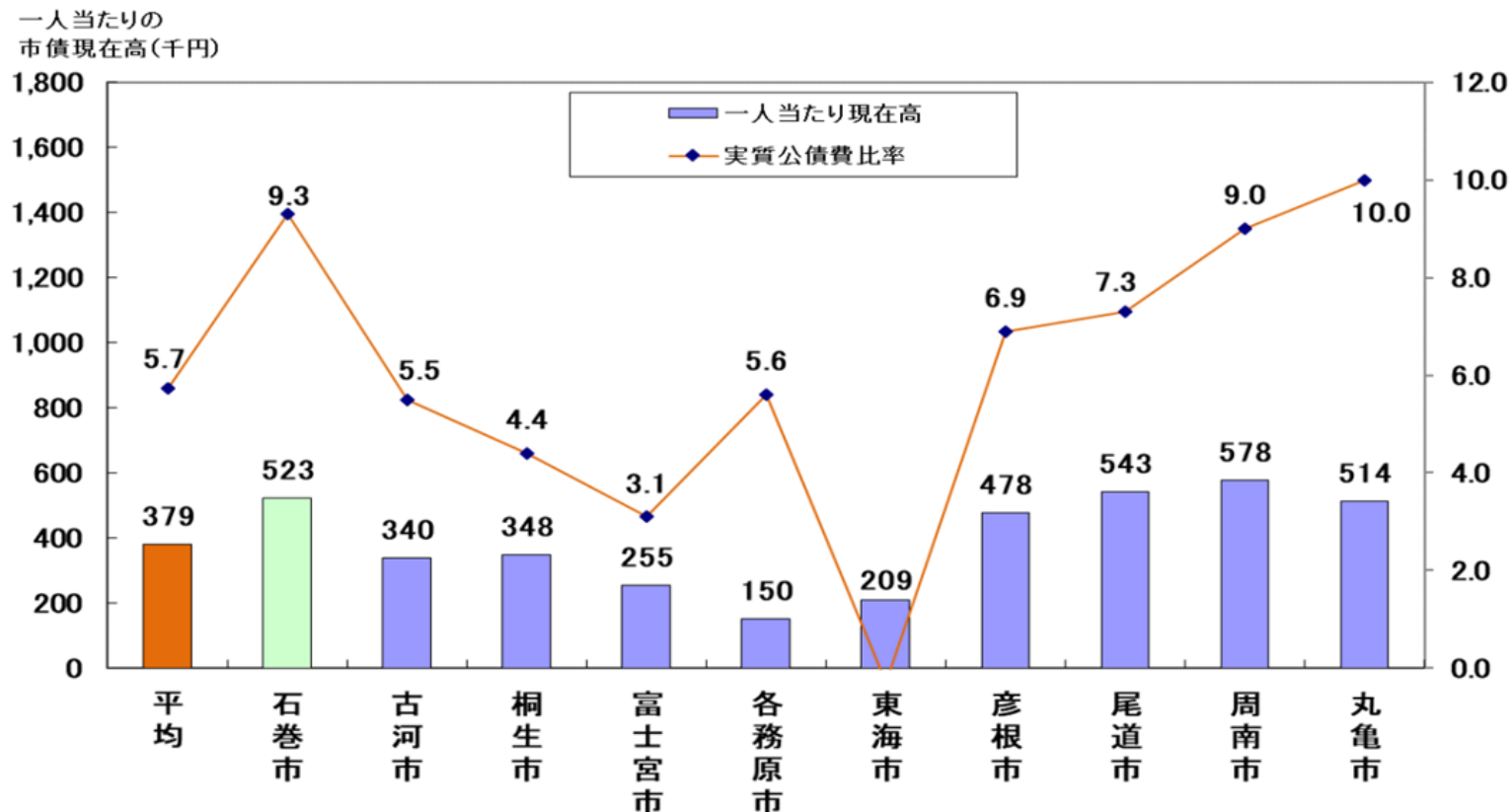


▲ 歳出の推移(決算ベース)

- 震災の影響から投資的経費が増加したが、復旧・復興事業の終了とともに、徐々に減少している。
- 歳出総額も歳入と同様に震災前の水準へ徐々に減少している。

石巻市の現状と課題

●市民一人当たりの市債現在高(借金)

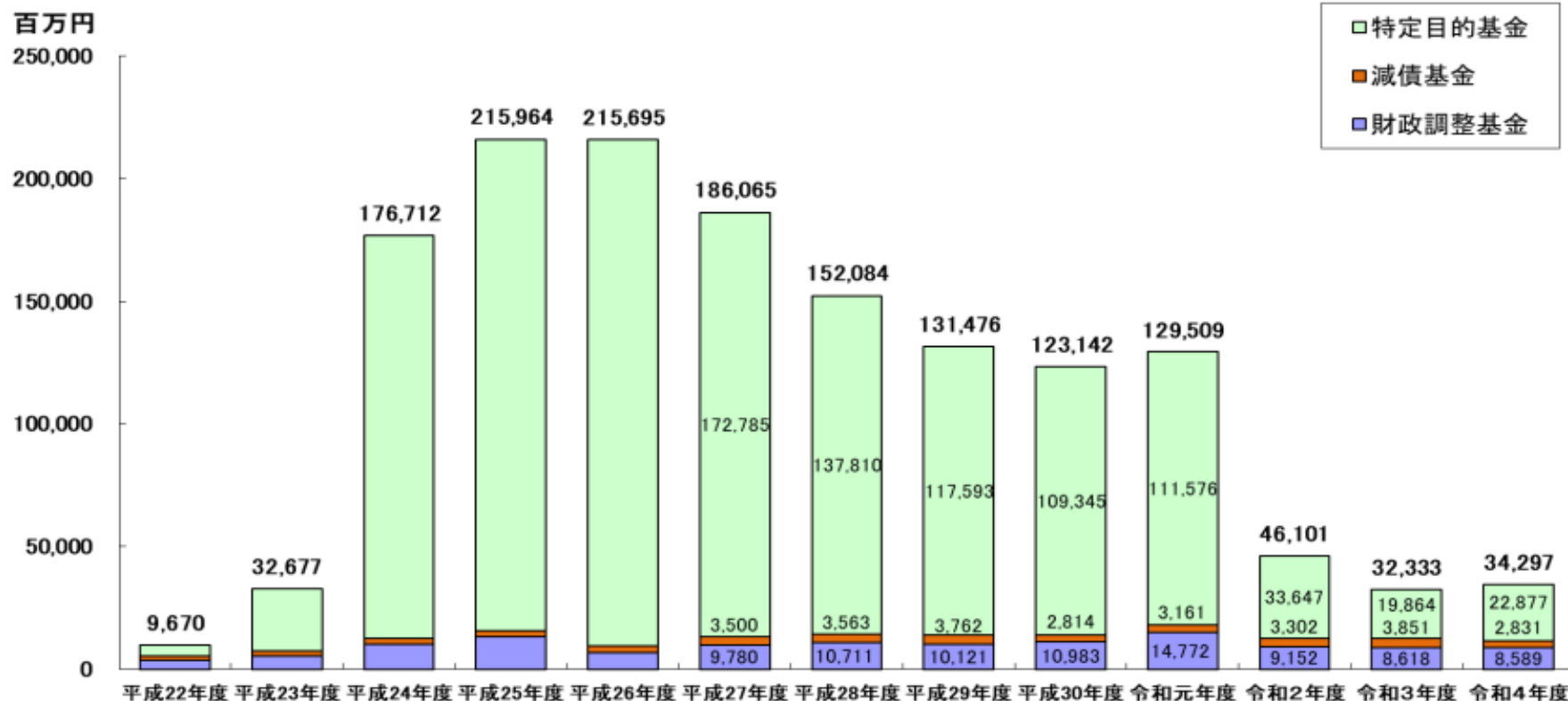


▲ 市民一人当たりの市債現在高及び実質公債比率の類似団体間比較(R4決算)

- 市民一人当たりの市債（借金）は類似団体の平均より、多くなっている。
- 一般財源総額に占める借金の割合（実質公債比率）も高い状況。

石巻市の現状と課題

●基金現在高(貯金)の推移

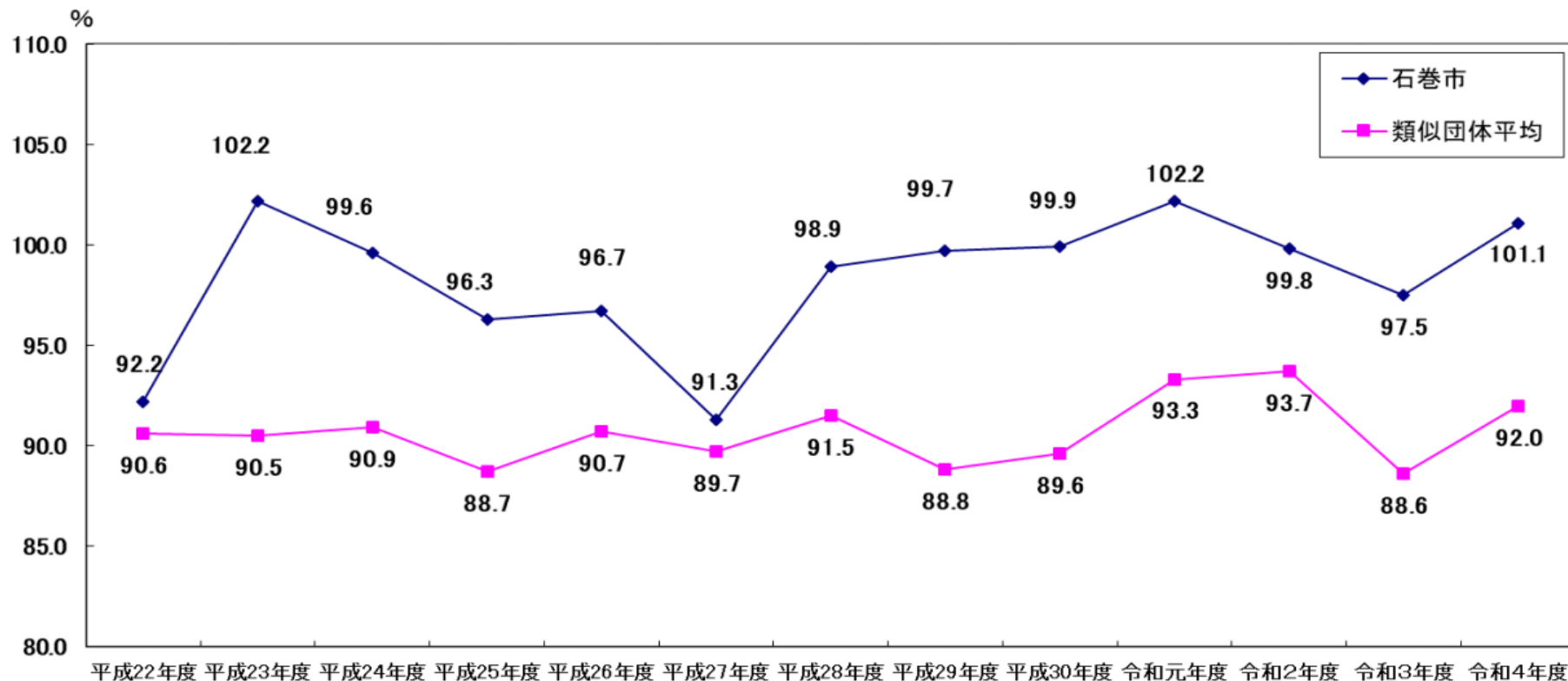


▲ 基金現在高の推移

- 復旧・復興事業を進めるための基金は、事業の収束とともに、大きく減少し、基金総額も大きく減少。
- 財政調整基金（貯金）も徐々に減少。

石巻市の現状と課題

●経常収支比率の推移



■経常収支比率は、類似団体平均に比べて高く推移し、令和4年度は101.1%となり、経常的な収入で経常的な支出を賄えていない状態となっている。

※経常収支比率とは、経常的な収入のうち、経常的な支出に充てられた割合を示し、財政構造の弾力性を測定する指標。比率が高いほど、臨時の財政需要に余裕がなく財政構造が硬直化している。